

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第168集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第22集

南蛇井増光寺遺跡Ⅲ

B区・古墳・奈良・平安時代
(観察表編)

1 9 9 4

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第168集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第22集

南蛇井増光寺遺跡Ⅲ

B区・古墳・奈良・平安時代
(観察表編)

1 9 9 4

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

觀察表目次

1 住居跡出土遺物	B-46号住居跡出土遺物	15
B-1号住居跡出土遺物	B-47号住居跡出土遺物	16
B-2号住居跡出土遺物	B-49号住居跡出土遺物	16
B-3号住居跡出土遺物	B-50号住居跡出土遺物	16~17
B-4A号住居跡出土遺物	B-52号住居跡出土遺物	17
B-4B号住居跡出土遺物	B-53号住居跡出土遺物	17
B-6号住居跡出土遺物	B-54号住居跡出土遺物	18
B-7号住居跡出土遺物	B-55号住居跡出土遺物	18
B-8号住居跡出土遺物	B-56号住居跡出土遺物	18~19
B-10号住居跡出土遺物	B-57号住居跡出土遺物	19
B-12号住居跡出土遺物	B-58号住居跡出土遺物	20
B-13号住居跡出土遺物	B-64号住居跡出土遺物	21
B-14号住居跡出土遺物	B-65号住居跡出土遺物	21
B-15号住居跡出土遺物	B-66号住居跡出土遺物	21
B-16号住居跡出土遺物	B-67号住居跡出土遺物	21~22
B-17号住居跡出土遺物	B-68号住居跡出土遺物	22
B-18号住居跡出土遺物	B-69号住居跡出土遺物	22~23
B-19号住居跡出土遺物	B-70号住居跡出土遺物	23~24
B-20号住居跡出土遺物	B-71号住居跡出土遺物	24
B-24号住居跡出土遺物	B-72号住居跡出土遺物	24
B-25号住居跡出土遺物	B-73号住居跡出土遺物	24
B-26号住居跡出土遺物	B-74号住居跡出土遺物	24~25
B-27号住居跡出土遺物	B-76号住居跡出土遺物	25
B-30号住居跡出土遺物	B-78号住居跡出土遺物	25
B-34号住居跡出土遺物	B-80号住居跡出土遺物	25~26
B-37号住居跡出土遺物	B-81号住居跡出土遺物	26~27
B-38号住居跡出土遺物	B-82号住居跡出土遺物	27
B-40号住居跡出土遺物	B-83号住居跡出土遺物	27~28
B-41号住居跡出土遺物	B-84号住居跡出土遺物	28
B-42号住居跡出土遺物	B-88号住居跡出土遺物	29
B-44号住居跡出土遺物	B-89号住居跡出土遺物	29
B-45号住居跡出土遺物	B-91号住居跡出土遺物	29

B-92号住居跡出土遺物	29~30
B-93号住居跡出土遺物	30
B-95号住居跡出土遺物	30
B-100号住居跡出土遺物	30
B-102号住居跡出土遺物	31
B-103号住居跡出土遺物	31
B-109号住居跡出土遺物	31~32
B-110号住居跡出土遺物	32
B-117号住居跡出土遺物	32~33
B-125号住居跡出土遺物	33
B-126号住居跡出土遺物	33
B-127号住居跡出土遺物	34
B-128号住居跡出土遺物	34
B-129号住居跡出土遺物	34~35
B-130号住居跡出土遺物	35
B-131号住居跡出土遺物	35
B-133号住居跡出土遺物	35
B-134号住居跡出土遺物	36
B-135号住居跡出土遺物	36
B-136号住居跡出土遺物	36
B-137号住居跡出土遺物	37
B-138号住居跡出土遺物	37~38
B-139号住居跡出土遺物	38
B-140号住居跡出土遺物	39
B-141号住居跡出土遺物	39~40
B-142号住居跡出土遺物	40~41
B-143号住居跡出土遺物	41
B-144号住居跡出土遺物	41~42
B-145号住居跡出土遺物	42~43
B-146号住居跡出土遺物	43~44
B-147号住居跡出土遺物	44
B-148号住居跡出土遺物	44
B-149号住居跡出土遺物	44~45
B-150号住居跡出土遺物	45
B-151号住居跡出土遺物	45~46

B-152号住居跡出土遺物	46
B-153号住居跡出土遺物	46
B-154号住居跡出土遺物	47
B-155号住居跡出土遺物	47
B-156号住居跡出土遺物	47~48
B-157号住居跡出土遺物	48~49
B-158号住居跡出土遺物	49
B-159号住居跡出土遺物	49
B-160号住居跡出土遺物	49
B-163号住居跡出土遺物	50
B-165号住居跡出土遺物	51
B-167号住居跡出土遺物	51
B-169号住居跡出土遺物	51
B-170号住居跡出土遺物	52
B-171号住居跡出土遺物	52
B-172号住居跡出土遺物	52
B-173号住居跡出土遺物	52
B-175号住居跡出土遺物	53
B-176号住居跡出土遺物	53~54
B-177号住居跡出土遺物	54
B-180号住居跡出土遺物	55
B-182号住居跡出土遺物	55
2 掘立柱建物跡出土遺物	
B-2号掘立柱建物跡出土遺物	56
B-5号掘立柱建物跡出土遺物	56
3 土坑・集石出土遺物	
B-24号土坑出土遺物	56
B-25号土坑出土遺物	56
B-11号土坑出土遺物	56~57
B-13号土坑出土遺物	57
B-20号土坑出土遺物	57
B-26号土坑出土遺物	57~58
B-2号集石出土遺物	58
4 グリッド出土遺物	
	58~60

1 住居跡出土遺物観察表

B-1号住居出土遺物観察表(第6図 P L67)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床密着 口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠	口(13.6) 底 11.6 高 3.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	底部は平底。口縁部は僅かに外傾する。口縁部は内外面横ナデ。底部外面へラ削り、内面へラナデ。	
2	土師器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(12.8) 底 — 高 4.5	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾する。外稜は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面指頭圧痕。	
3	土師器 坏	+17cm $\frac{1}{2}$	口(12.3) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾し、外稜は明瞭。口縁部は内外面横ナデ、外面は体部との境で棒状工具による強い押さえ。体部外面へラ削り。	
4	土師器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(13.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は内湾する。口縁部外面横ナデ。体部へ底部外面へラ削り。内面は口縁部へ体部横ナデ後へラ磨き。	
5	須恵器 坏身	+13cm $\frac{1}{2}$	口(12.6) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③褐灰色	口縁部は短く、内傾する。ロクロ成形。口縁部は横ナデ。	
6	土師器 甕	+3cm 口縁~胴部 $\frac{1}{2}$	口(22.0) 底 — 高 —	①白色粗砂粒を含む。 ②酸化焰、普通 ③明赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。口縁部~頸部の外面にへラあて痕、以下へラ削り。胴部内面へラナデ。	

B-2号住居出土遺物観察表(第7図)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(13.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾する。内外面とも器面の荒れが著しい。	

B-3号住居出土遺物観察表(第10図 P L67)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	ピット内 -10cm ほぼ完形	口 16.7 底 5.8 高 7.9	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。ロクロ成形。右回転。高台貼付。口縁部は内外面横ナデ。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
2	須恵器 高台付埴	竈内 +6cm 体~底部	口 — 底 6.0 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。高台貼付。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
3	須恵器 埴	竈内 +2cm 口~体部	口(13.5) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。ロクロ成形。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
4	須恵器 小型坏	ピット内 -8cm $\frac{1}{2}$	口(9.1) 底(5.0) 高 2.4	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
5	土師器 甕	ピット内 -10cm 口~胴部	口 15.8 底 — 高 —	①白色粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-4 A号住居出土遺物観察表(第12図 P L67)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+14cm 完形	口 11.9 底 — 高 4.3	①小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面指頭圧痕。	
2	土 師 器 坏	+ 4 cm ⅔	口(20.4) 底 (9.2) 高 6.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	大型の坏。口縁部は内外面横ナデ。体部及び底部外面へら削り。	
3	土 師 器 坏	+11cm ½	口(13.4) 底 — 高 (4.1)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は直立する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
4	土 師 器 鉢	+ 9 cm ⅓	口(25.8) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。口縁部～体部の内面はへら磨き。	
5	土 師 器 甕	+ 4 cm 口縁～胴 上位⅔	口(14.2) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
6	土 師 器 甕	+ 4 cm 口縁～胴 上位⅔	口(21.0) 底 — 高 —	①赤色細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面へらナデ。	
7	土 師 器 甕	床密着 胴下位～ 底部⅔	口 — 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	底部は丸底を呈する。胴部～底部外面へら削り。内面へらナデ。	

B-4 B号住居出土遺物観察表(第13図 P L67)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+ 2 cm ⅔	口 15.8 底 — 高 5.0	①微砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。口縁部～体部内面横ナデ。	
2	土 師 器 坏	+ 1 cm ½	口(14.0) 底 — 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面ナデ。内外面に指頭圧痕。	
3	土 師 器 鉢	+ 1 cm 口縁～胴 上位⅔	口 29.0 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する大型の鉢と思われる。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ、外面にへらあて痕。体部外面へら削り、内面へらナデ。	
4	土 師 器 甕	床密着 口縁～胴 上位⅔	口(33.4) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③明赤褐色	丸胴を呈する大型の甕と思われる。口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面にへらあて痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
5	土 師 器 甕	床密着 口縁～胴 上位⅔	口(21.5) 底 — 高 —	①中砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は短く、直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-6号住居出土遺物観察表(第14図 P L67)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	竈内 + 9 cm 口縁⅔欠	口 12.5 底 — 高 4.2	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	体部内面は荒れている。
2	土 師 器 坏	+ 5 cm ⅔	口(15.8) 底 — 高 5.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい黄褐色	丸底を呈する。口縁部は外反する。口縁部は外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は横ナデ。	口縁部内面に煤付着。

B-4A・4B・6・7号住居出土遺物

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
3	土師器 小型甕	甕内 +15cm %	口(14.7) 底 3.8 高 18.1	①中砂・角閃石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り後へラ磨き、内面へラナデ。			
4	土師器 小型甕	甕内 +13cm %	口(13.0) 底 (3.5) 高 15.6	①赤色細粒多量に含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい橙色	口縁部は緩やかに外反する。底部の器厚は極めて厚い。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面荒いハケメ。			
5	土師器 小型壺	覆土 %	口 (8.2) 底 (5.2) 高 (5.1)	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	最大径は胴下位にある。口縁部外面横ナデ。胴部外面へラ削り。内面は口縁部～胴部横ナデ、胴下位～底部に指頭圧痕。			
6	土師器 小型壺	覆土 %	口 (7.0) 底 (5.6) 高 5.0	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面はナデ、指頭圧痕あり。			
番号	器種	出土状況 残存状況	測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	径	孔 径	重 量		
7	石製品 管玉	覆土 完形	2.6	0.7	0.2~0.3	1.8	珪質頁岩	形状は円柱状を呈する。色調は青緑色を呈する。上下より穿孔。

B-7号住居出土遺物観察表(第20図 PL68)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 %	口(14.5) 底 4.4 高 6.0	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。右回転糸切り。	器形に歪みがある。
2	須恵器 坏	床密着 %	口(12.5) 底 6.0 高 4.4	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。体部は内外面ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 高台付塊	床密着 %	口 15.6 底 6.8 高 6.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。右回転。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。高台貼付。	
4	須恵器 小型坏	+3cm %	口 10.0 底 5.3 高 2.9	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
5	須恵器 小型坏 灯火器か	+4cm 完形	口 10.0 底 5.2 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部は内外面ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	内面に煤付着。
6	須恵器 小型坏	床密着 %	口(10.8) 底 5.3 高 2.9	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
7	須恵器 小型坏	+2cm %	口(10.2) 底 5.1 高 2.0	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
8	須恵器 小型坏	床密着 %	口 (9.6) 底 5.0 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
9	須恵器 小型坏 灯火器か	+9cm %	口(11.2) 底 (5.6) 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③明赤褐色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	内面に煤付着。
10	土師器 土釜	床密着 口縁～胴 上位%	口(30.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。肩部無調整、指頭圧痕あり。胴部外面へラ削り後へラ磨き、指頭圧痕・輪積痕あり、内面はへラナデ。	
11	土師器 土釜	床密着 口縁～胴 上位%	口(27.3) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り後へラ磨き、内面へラナデ。	
12	土師器 土釜	+19cm 口縁～胴 上位%	口(24.9) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面はナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
13	須恵器 羽釜	+19cm 口縁部片	口 — 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	ロクロ成形。口縁部内外面横ナデ。口縁部は端部で短く外反する。	
14	須恵器 羽釜	床密着 口縁～胴 上位片	口(25.4) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。口縁部内外面横ナデ。胴下半ロクロ成形後ヘラ削り。	

B-8号住居出土遺物観察表(第22図 P L68)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	+29cm %	口 11.4 底 — 高 3.6	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	丸底を呈する。外稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。			
2	土師器 坏	+27cm %	口(11.0) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄橙色	丸底を呈し、口縁部と体部との境に外稜がある。口縁部内外面横ナデ。内面に指頭圧痕。	外面は器面の荒れ著しい。		
3	土師器 甕	+29cm 口縁～胴 上位	口 — 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
4	土師器 甕	+10cm 口縁部片	口(20.4) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
5	石皿状の石製品	表土 完形	11.6	11.3	2.4	640.1	粗粒安山岩	方形に近い石を石皿状に加工したもののか。表面及び側面に工具痕が認められる。
6	磨石	北西隅 +35cm	8.6	7.7	5.3	385.2	変質安山岩	円礫の両面に使用痕。

B-10号住居出土遺物観察表(第25図 P L68)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+6cm %	口(12.3) 底 — 高 3.8	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③褐灰色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部外面横ナデ後ヘラ磨き。体部～底部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面は横ナデ。	

B-12号住居出土遺物観察表(第29・30図 P L68)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	竈右袖部 床密着 %	口(11.1) 底(5.0) 高 3.5	①微細砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	右回転ロクロ成形。底部糸切り。	
2	須恵器 高台付境	竈左袖部 +14cm %	口 12.6 底 6.2 高 4.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③黄橙色	ロクロ成形。高台貼付。	内外面器面の荒れが著しい。
3	灰釉陶器 高台付皿	竈左脇 +11cm ほぼ完形	口 12.8 底 7.0 高 2.5	①白色微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	右回転ロクロ成形。底部糸切り。高台貼付。施釉は漬け掛け。	虎溪山1号窯式
4	灰釉陶器 高台付境	竈左袖部 +15cm %	口(14.5) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
5	灰釉陶器 高台付埴	覆土 ⅓	口(13.2) 底(7.2) 高 3.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部糸切り。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式		
6	土師器 甕	北東隅 -3cm ⅓	口(22.0) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は短く外反する。口縁部は内外面横ナデ。 胴部外面へラ削り、内面へラナデ。			
7	須恵器 羽釜	竈左脇 床密着 口縁部片	口(19.0) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。罫は断面三角形 を呈する。			
8	須恵器 羽釜	竈壁 +24cm 口縁部片	口(19.8) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。罫は断面三角形 を呈する。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
9	磨石	+3cm ほぼ完形	19.3	19.0	5.2	2400	粗粒安山岩	片面(表面)の全面が磨面で、ほぼ全面に煤 付着。

B-13号住居出土遺物観察表(第33図 P L 69)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土師器 坏	+6cm ほぼ完形	口 13.6 底 - 高 4.3	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。口縁部と体部の 境に外稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面 へラ削り、内面はナデ、指頭圧痕。		
2	土師器 坏	+7cm ⅓	口(11.8) 底 - 高 4.4	①微細砂粒・赤色細粒を 含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈し、口縁部は緩やかに外反する。口縁部 内外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き、内 面へラナデ。		
3	土師器 坏	覆土 ⅓	口(12.4) 底 - 高(3.7)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	丸底を呈し、口縁部は直立する。外稜は明瞭。口 縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は口縁 部~体部横ナデ、指頭圧痕あり。		
4	土師器 甕	+9cm 口縁~胴 上半	口 20.5 底 - 高 -	①中砂粒・白色細粒を含 む。②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へラ削り、内面はへラナデ。		
5	須恵器 甕	+8cm 口縁~胴 上位⅓	口 - 底 - 高 -	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③暗灰黄色	ロクロ成形。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面タ タキしめ後横ナデ、内面は青海波文。		
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				特 徴
			全長	幅	厚さ	重量	
6	鉄製品 刀子	+23cm ⅓	(18.0)	1.3	0.6	20.1	茎は一部欠損。刃部は一部を残すのみで⅓以上を欠損。棟区 は明瞭。刃部は断面三角形、茎は断面長方形を呈する。

B-14号住居出土遺物観察表(第35図 P L 69)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床下覆土 ⅓	口(12.1) 底 - 高(4.1)	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾する。外稜は明瞭。 口縁部外面横ナデ後へラ磨き。体部外面へラ削り 後へラ磨き。内面は横ナデ。	
2	須恵器 坏	覆土 ⅓	口(10.0) 底 - 高 4.5	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐灰色	体部は内湾する。ロクロ成形。底部は回転へラ削 り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 高坏	+10cm 脚部欠	口 一 底(14.3) 高 一	①石英・黒色粒・赤色粒を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	脚部は裾部で大きく開く。脚部外面ヘラ削り、内面ナデ。裾部内外面横ナデ。	
4	土師器 甕	床密着 ほぼ完形	口 23.6 底 4.5 高 36.4	①中砂・小石・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、底部付近は斜め方向、内面ヘラナデ。底部外面ヘラ削り。	
5	土師器 甕	床密着 ほぼ完形	口 22.2 底 一 高 34.7	①中砂・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反し、底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-15号住居出土遺物観察表(第37図 P L 69)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土師器 坏	竈前部 床密着 %	口(18.0) 底 一 高 4.8	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は内傾する。口縁部外面横ナデ、体部外面ヘラ削り。内面は口縁部～体部横ナデ。		
2	土師器 甕	竈前部 床密着 ほぼ完形	口 22.8 底 4.5 高 41.6	①黒色鉱物・小石・粗砂を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に棒状工具による沈線2条、指頭圧痕。胴部～底部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。		
3	土師器 甕	床密着 ほぼ完形	口 17.0 底 8.6 高 22.1	①粗砂・小石・赤色細粒を含む。②酸化焰、軟質 ③橙色	最大径は胴部中位にある。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面斜め方向のヘラ削り。	内面の荒れ著しい。	
4	土師器 甕	竈前部 +13cm 胴～底部	口 一 底 7.5 高 一	①石英・黒色鉱物・白・赤色細粒を含む。②酸化焰、やや堅緻③にぶい橙	胴部～底部内外面ヘラ削り。	胴下位に内外面煤付着。	
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				特徴
			全長	幅	厚さ	重量	
5	鉄製品 火打金	床密着 一部欠損	6.4	0.9	0.9	8.7	一部欠損。打撃部裏側が山形に突出している。錆化が進行している。

B-16号住居出土遺物観察表(第39図 P L 69・70)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 甕	+5cm ほぼ完形	口 18.9 底 一 高 36.5	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。器面の荒れ著しく、胴下位には2次的に火を受けた痕跡。	胴上位に煤付着。
2	土師器 甕	床密着 胴～底部 欠	口 一 底 4.8 高 一	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい赤褐色	胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
3	土師器 甕	+9cm 口縁欠	口(19.6) 底 一 高 一	①極粗砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-17号住居出土遺物観察表(第41・42図 P L 70・71)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈右脇 +9cm ほぼ完形	口 13.6 底 一 高 4.7	①粗砂粒・白・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部は深く、口縁部短く内傾する。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。体部内面に指頭圧痕。	内面煤付着

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	土師器 坏	+2cm ほぼ完形	口 13.4 底 — 高 5.1	①中砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部は浅く、口縁部は長い。口縁部外面は横ナデ後へラ磨き、内面横ナデ。体部へラ削り。	
3	土師器 坏	床密着 ほぼ完形	口 12.7 底 — 高 3.9	①雲母・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	体部へラ削り。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	体部に黒斑。
4	土師器 坏	床密着 ほぼ完形	口 14.0 底 — 高 4.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい黄橙色	口縁部は短く内傾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面へラナデ。	内面 1/2 に煤付着。器面荒れている。
5	土師器 坏	+2cm ほぼ完形	口 12.7 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は短く内傾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面に指頭圧痕。	
6	土師器 坏	床密着 口縁欠	口 14.1 底 — 高 4.5	①白色粗砂を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内面に棒状工具による沈線1条。外稜は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	体部内面荒れている。
7	土師器 坏	床密着 1/2	口 12.8 底 — 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③褐色	口縁部は短く内傾する。体部も浅い。口縁下部に棒状工具による沈線1条。外稜は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
8	土師器 坏	竈左袖 +28cm 1/2	口(10.6) 底 — 高 3.7	①中砂粒・白色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は短く直立する。口縁部は内外面横ナデ。体部へラ削り後へラ磨き。	底部に明瞭な木葉痕。
9	土師器 坏	竈左袖 +16cm 完形	口 16.9 底 — 高 5.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	大型の坏。口縁部は内傾し、外稜は明瞭。口縁部と体部の境は棒状工具による強い押さえ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き、内面放射状へラ磨き。	
10	土師器 小型甕	竈右脇 +6cm ほぼ完形	口 15.2 底 5.6 高 12.2	①中砂粒・石英・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。底部に焼成後の穿孔あり。口縁部は内外面横ナデ。胴部及び底部外面へラ削り。	甕に転用か。
11	土師器 小型甕	+8cm ほぼ完形	口 13.6 底 — 高 13.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
12	土師器 小型甕	竈左脇 +20cm ほぼ完形	口 11.0 底 — 高 12.0	①白色細粒・小石を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。底部は丸底を呈する。内外面器面の荒れ著しい。	内面に黒色の付着物。
13	土師器 小型甕	竈右袖 +17cm 1/2	口(14.5) 底 — 高 10.0	①粗砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は僅かに外反する。底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ナデ。	
14	土師器 小型甕	+9cm 1/2	口(15.5) 底 3.4 高 13.3	①中砂粒・石英・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部は外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部へラ削り。内面へラナデ。	
15	土師器 甕	竈左脇 +8cm ほぼ完形	口(13.7) 底(9.7) 高 22.0	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口径は小さく、底径が大きい。口縁部内外面横ナデ。胴部へラ削り。胴部内面へラナデ。	
16	土師器 甕	+4cm ほぼ完形	口 18.0 底 6.0 高 33.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。最大径は胴上位にある。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへラ削り、内面へラナデ。	
17	土師器 甕	北東隅 -2cm ほぼ完形	口 18.5 底 5.6 高 32.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	折り返り口縁。口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向及び斜め方向のへラ削り、内面へラナデ。	胴部に炭化物付着。底部に木葉痕。
18	土師器 甕	竈左袖 +12cm ほぼ完形	口 20.2 底 5.3 高 32.8	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへラ削り、内面ナデ。底部外面へラ削り。	
19	土師器 甕	竈右袖 +7cm 胴～底部	口 — 底 5.3 高 —	①極粗砂粒・小石含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部はくぼみ底。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
20	土師器 甕	竈右袖 +5cm 完形	口 22.4 底 10.0 高 27.2	①粗砂粒・小石含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ、下部の外面に棒状工具による強い押え。胴部外面へラ削り、内面へラナデ、底部付近へラ削り。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-18号住居出土遺物観察表(第44図 P L71)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈前部 +2cm %	口 10.1 底 — 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する。体部は内湾し、口縁部は内傾する。 口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
2	土師器 坏	竈前部 +3cm %	口(13.4) 底 — 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
3	土師器 皿形坏	竈前部 +3cm %	口(19.4) 底 — 高 —	①赤色微細砂粒・雲母を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸底を呈する。体部外面へら削り。	内面は器面が荒れている。
4	土師器 甕	竈前部 +2cm 底部欠	口 23.2 底 — 高(36.0)	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部は大きく外反する。 口縁部内外面横ナデ、内面の一部にへらあて痕。 胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-19号住居出土遺物観察表(第46図 P L71)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	床下覆土 %	口(10.5) 底 5.5 高 3.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③浅黄橙色	右回転ロクロ成形。	底部荒れている。
2	須恵器 高台付埴	+13cm 口縁部欠	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒・石英・黒色 鉱物を含む。②酸化焰、 軟質③浅黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切りか。高台貼付。	内外面器面が荒れている。高台剥離
3	灰釉陶器 高台付埴	+6cm %	口(10.5) 底(4.8) 高 3.2	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転へら削り調整。高台貼付。 内外面の一部に朱あり。外面刻字か。高台部及び 内面に施釉。施釉は潰け掛けか。	大原2号窯式
4	須恵器 短頸壺	+6cm % 底部欠	口(14.0) 底(12.0) 高(20.4)	①緻密 ②酸化焰、良好 ③灰白色	口縁部は緩やかに外反する。胴上位にロクロ成形 痕。胴下位ロクロ成形後ナデ、最下部ロクロ成形 後へら削り。内面ロクロ成形後横ナデ。	
5	須恵器 羽釜	覆土 口縁部片	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや堅緻 ③灰黄色	ロクロ成形。	

B-20号住居出土遺物観察表(第48図 P L72)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	覆土 底部片	口 — 底(8.0) 高 —	①緻密 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	
2	土師器 甕	竈左脇 +5cm 口縁~胴	口(19.2) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	「コ」の字状口縁の甕。口縁部内外面横ナデ。胴 部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	須恵器 甕	竈内 +7cm 頸~胴部	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、やや軟質 ③浅黄色	外面叩目後ナデか。内面指ナデ。	

B-24号住居出土遺物観察表(第53図 P L72)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	貯蔵穴上 部+4cm %	口 14.1 底 6.1 高 5.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がる。底部 右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	須恵器 坏?	+6cm 口縁部欠	口 — 底 5.1 高 —	①白・赤色細粒・黒色鈹物を含む。②酸化焰、やや堅緻③にぶい橙色	ロクロ成形。体部外面横ナデ、下部は手持ちヘラ削り、内面は横方向のヘラナデ。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 坏	竈右袖 +10cm ½	口(13.0) 底(6.8) 高 3.6	①微細砂粒・角閃石を含む。②酸化焰、やや軟質③にぶい橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
4	土師器 甕	竈内 ½	口(18.8) 底(3.5) 高 26.0	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③明赤褐色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部及び底部外面ヘラ削り。胴部内面の上位はヘラナデ、下位はハケメ。	
5	土師器 甕	+7cm 口縁~胴部	口(18.6) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ、口唇部に沈線1条。頸部に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	須恵器 甕	床密着 胴~底部	口 — 底(14.0) 高 —	①緻密②還元焰、堅緻③明灰褐色	大型の甕。胴部外面ナデ、内面あて目痕。底部外面ヘラ削り。	

B-25号住居出土遺物観察表(第55・56図 PL72)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	-4cm ほぼ完形	口 12.8 底 — 高 4.8	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	
2	土師器 坏	-3cm ほぼ完形	口 11.8 底 — 高 4.1	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。底部の器肉が厚い。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
3	土師器 坏	+29cm ¾	口(14.0) 底 — 高 4.8	①微細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は口縁部~体部横ナデ。	
4	土師器 坏	+32cm ¾	口 10.6 底 — 高 4.0	①緻密②酸化焰、堅緻③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は口縁部~体部横ナデ、指頭圧痕。	
5	土師器 坏	+46cm ¾	口(11.8) 底 — 高 4.0	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は内傾する。口縁部内外面横ナデ、体部外面ヘラ削り。	
6	土師器 坏	-27cm ½	口(12.9) 底 — 高 4.2	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
7	土師器 坏	+62cm ¾	口(11.8) 底(8.0) 高 4.0	①細砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面はヘラ削り。内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
8	土師器 坏	+29cm 底部欠損 ½	口(14.7) 底 — 高(5.2)	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾し、口縁部は僅かに内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
9	土師器 皿形坏	+54cm ½	口(18.2) 底 — 高 2.3	①細砂~中砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部~底部外面ヘラ削り。	
10	土師器 皿形坏	+28cm ほぼ完形	口 19.0 底 — 高(4.3)	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
11	土師器 鉢	床密着 ¾	口(24.6) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい赤褐色	丸底を呈する。口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	須恵器 盤	西壁 ¾	口 — 底(14.8) 高 —	①微細砂粒を含む。②還元焰、やや軟質③浅黄色	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り調整。高台貼付。高台部横ナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
13	土師器 小型甕	+47cm 口縁 $\frac{1}{2}$	口 11.7 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
14	土師器 小型甕	+59cm 口縁～胴 部	口(13.4) 底 — 高 —	①細砂・雲母・赤色細粒 を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
15	土師器 甕	+49cm 口縁～胴 上位	口 17.0 底 — 高 —	①中砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
16	土師器 甕	床密着 口縁～胴 部	口(21.2) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外 面へら削り、内面へらナデ。	
17	土師器 甕	+43cm 口縁～胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(16.3) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
18	土師器 甕	+50cm 口縁～胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(19.3) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴 部外面へら削り、内面へらナデ。	
19	土師器 甕	+64cm 胴下位～ 底部 $\frac{1}{2}$	口 — 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	丸底を呈する。丸胴の大型の甕と思われる。胴部 外面へら削り後へら磨き、内面へらナデ。	

B-26号住居出土遺物観察表(第58図 P L73)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm 口縁一部 欠損	口 10.6 底 — 高 5.2	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈し、体部は内湾する。口縁部は直立気味 に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へ ら削り、内面横ナデ後へら磨き。	内面黒色処理
2	土師器 坏	竈左袖 +14cm ほぼ完形	口 14.2 底 — 高 5.1	①雲母・黒色鉱物・赤色 細粒・微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する。外稜は弱く、口縁下部に棒状工具 による沈線2条。口縁部内外面横ナデ後へら磨き。 体部外面へら削り後へら磨き。	
3	土師器 坏	床密着 ほぼ完形	口 15.0 底 — 高 5.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する。外稜は弱く、口縁部と体部の境に 棒状工具による沈線1～2条。口縁部外面横ナデ。 体部外面へら削り後へら磨き。内面の口縁部～体 部横ナデ後へら磨き。	
4	土師器 鉢?	覆土 底部欠損 $\frac{1}{2}$	口(19.2) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄橙色	丸底を呈し、口縁部は外傾する。口縁部外面横ナ デ。口縁部～体部内面は横ナデ後へら磨き。	体部外面の摩耗 著しい。
5	土師器 小型甕	竈左袖 +13cm $\frac{1}{2}$	口(14.6) 底 8.2 高 17.9	①粗砂粒・赤色粒含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外 面底部→口縁部に向かって斜め方向のへら削り、 内面へらナデ。	
6	土師器 甕	竈右脇 +7cm 口縁～胴	口 25.5 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
7	土師器 甕	床密着 胴部～底 部	口 — 底 4.0 高 —	①極粗砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面へら削り。内面へらナデ。	底部木葉痕

B-27号住居出土遺物観察表(第60図 P L73)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	床下覆土 $\frac{1}{2}$	口(10.0) 底(5.5) 高 2.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	灰釉陶器 壺	東壁下 床密着 口縁欠	口(14.5) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。施釉は漬け掛け。	
3	須恵器 羽釜	北壁下 +13cm 口縁部片	口(20.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部は内傾し、鐔は断面三角形を呈する。	
4	須恵器 羽釜	床密着 口縁部片	口(21.0) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい橙色	ロクロ成形。口縁部は内傾し、鐔は断面三角形を呈する。	

B-30号住居出土遺物観察表(第62図 P L73・74)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	須恵器 坏	東南部 +7cm 一部欠損	口 13.5 底 5.8 高 5.1	①細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰黄褐色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する。	器形に歪みがある。		
2	須恵器 坏	旧竈内 床密着 %	口 13.3 底 5.8 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③暗褐色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。			
3	須恵器 坏	新竈内 +4cm %	口 13.4 底 5.9 高 4.3	①微細砂粒・白色細粒・ 黒色鉱物を含む。②還元 焰、やや軟質③灰黄褐色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。口縁部は外反する。			
4	須恵器 坏	東南部 +7cm %	口(13.4) 底(5.2) 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部欠損。			
5	須恵器 坏	旧竈内 +11cm %	口(13.2) 底(5.0) 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。底部回転糸切り。	器面が荒れている。内面に煤付着。		
6	須恵器 坏	東南部 +13cm %	口(12.1) 底 6.6 高 4.2	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。口縁部は短く外反する。			
7	須恵器 高台付壺	東南部 +5cm 口縁部欠	口 — 底 6.6 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。体部は内湾気味に立ち上がる。			
8	灰釉陶器 高台付壺	覆土 口縁部欠 %	口 — 底(7.6) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。底部は回転ヘラ切り後回転ヘラ削り調整。施釉は刷毛掛け。	内面に重ね焼き痕あり。 光ヶ丘1号窯式		
9	土師器 甕	新竈内 口縁~胴部	口(17.7) 底 — 高 —	①細砂粒・石英・黒色鉱物・ 赤色粒を含む。②酸化 焰、良好③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に輪積み痕あり。胴部外面ヘラ削り、内面にハケメ。			
10	須恵器 羽釜	新竈内 口縁~胴部	口(20.0) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。口縁部は大きく内傾する。			
11	須恵器 小型壺	+6cm 体~底部	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	外面の肩部にカキ目痕、胴部に沈線2条、沈線の間に櫛歯状工具による列点刺突文。内面はナデか。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
12	砥石	+12cm 完形	13.0	9.6	1.8	296.1	凝灰質砂岩	表面のみ使用。
13	鉄製品 釘	覆土 端部欠損	(6.5)	1.2	0.6	7.8		先端部欠損。頭部方形。断面は長方形を呈し、肉厚である。
14	鉄製品 釘	覆土 %	(3.7)	1.5	0.5	6.1		釘の上半部。頭部円形。断面は長方形を呈し、肉厚である。

1 住居跡出土遺物観察表

B-34号住居出土遺物観察表(第65・66図 P L74)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈左脇 床密着 ほぼ完形	口 13.2 底 — 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾する。外稜は弱い。口縁部外面横ナデ、沈線2〜3条。体部外稜ヘラ削り。内面横ナデ後ヘラ磨き。	内面黒色処理
2	土師器 甕	竈前 床密着 口縁〜胴	口(22.0) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
3	土師器 甕	竈内 床密着 胴〜底部	口 — 底 5.9 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	胴部〜底部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
4	土師器 甕	床密着 ほぼ完形	口(25.2) 底(9.6) 高 33.7	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ後縦方向のヘラ磨き。	
5	土師器 甕	竈前 床密着 口縁部欠	口 — 底 11.9 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部欠損。口縁下部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面縦方向のナデ。底部付近内面横方向のヘラ削り後縦方向のナデ。	
6	須恵器 甕	床密着 胴部片	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰黄褐色	外面平行叩目文、横方向のカキ目。内面青海波文。	

B-37号住居出土遺物観察表(第69・70図 P L74・75)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+24cm 完形	口 11.0 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部〜体部内湾。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	器面は荒れている。
2	土師器 坏	+29cm 完形	口 11.4 底 — 高 4.1	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	底面の器内が厚い。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	器面は荒れている。
3	土師器 坏	+17cm ½	口(11.3) 底 — 高 3.7	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部〜体部内湾。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	内面は器面が荒れている。
4	土師器 坏	+29cm ½	口 14.4 底 — 高 5.3	①緻密、細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面放射状ヘラ磨き。	
5	土師器 塊?	覆土 底部欠損	口 10.6 底 — 高 7.4	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短く、内傾する。丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 小型甕	+13cm 口縁〜胴部	口(12.5) 底 — 高 —	①赤色細粒・石英含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面口縁部→胴部斜め方向のヘラ削り、内面ヘラナデ、指頭疔痕。	
7	土師器 小型甕	+37cm ¼	口(9.8) 底 — 高 9.2	①細砂・雲母・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は短く、外反する。底部は丸底。口縁〜頸部外面横ナデ。口縁部内面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
8	土師器 甕	+3cm 底部欠損	口 22.8 底 — 高 —	①極粗砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部に1〜2本の沈線。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
9	土師器 甕	床密着 一部欠損	口 23.5 底 5.7 高 34.2	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	胴上位に焼成後の小円孔あり。
10	土師器 甕	+25cm 口縁〜胴部	口(22.9) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
11	土師器 甕	+16cm 口縁~胴部	口 24.2 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の大型の甕と思われる。口縁部は外反する。 口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-38号住居出土遺物観察表(第72図 P L 75)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	+17cm ほぼ完形	口 12.4 底 10.4 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。	内面の荒れ著しい。		
2	土師器 坏	+28cm %	口(11.3) 底 7.8 高 3.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口唇部は非常に器厚が薄い。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	内面の器面の荒れ著しい。		
3	土師器 坏	+20cm %	口(12.4) 底(9.8) 高(4.8)	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	内面の器面の荒れ著しい。		
4	須恵器 蓋	+6cm %	口(14.9) 摘 4.5 高 2.3	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。天井部回転へら削り調整。摘貼付。 内面が転用硯として使用されており、中央が摩耗している。			
5	須恵器 蓋	+10cm %	口(12.8) 摘 3.7 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。天井部回転へら削り調整。摘貼付。			
6	土師器 甕	+5cm 口縁%	口(18.3) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
7	砥 石	+3cm 一部欠損	25.7	17.5	2.3	1,243.3	凝灰質砂岩	主に片面(表側)に研磨の痕跡が見られる。

B-40号住居出土遺物観察表(第75図 P L 75)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	覆土 %	口(8.7) 底(4.4) 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。口縁部内外面横ナデ。底部は右回転糸切り。	内面に数カ所煤附着。灯火器か。
2	土師器 土 釜	床密着 %	口(27.0) 底(11.5) 高(34.0)	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。口縁部~頸部外面に指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	須恵器 羽 釜	+12cm 口縁~胴部	口(25.8) 底 — 高 —	①雲母・角閃石を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄灰色	ロクロ使用。胴下位へら削り。	

B-41号住居出土遺物観察表(第76・77図 P L 76)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	-2cm 体部~底部%	口 — 底(6.6) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部左回転糸切り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
2	須恵器 高台付塊	+6cm 底部	口— 底 6.8 高—	①微細砂粒・雲母含む。 ②還元焰、やや軟質 ③浅黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。			
3	須恵器 高台付塊	+1cm 底部 $\frac{1}{2}$	口— 底 (7.8) 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。体部外面及び底部に墨付着。墨書か。			
4	灰釉陶器 高台付塊	+21cm $\frac{1}{2}$	口(14.8) 底 (7.2) 高 5.0	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾し、口縁部は外反する。体部下半ナデ調整。底部回転ヘラ切り後ナデ調整。高台貼付、内外面横ナデ。施釉は刷毛掛け。	底部の中心部にヘラ記号。 光ヶ丘1号窯式		
5	灰釉陶器 高台付皿	+21cm $\frac{1}{2}$	口(13.2) 底 (6.9) 高 3.1	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部は外反する。底部ナデ調整。高台貼付。施釉は刷毛掛け。	光ヶ丘1号窯式		
6	土師器 甕	-3cm 口縁部 $\frac{1}{2}$	口(21.6) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ハケメ。			
7	須恵器 有環長頸瓶	床密着 口縁~胴部 ~底部	口(16.0) 底(12.0) 高(40.9)	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰黄色	口縁部~頸部ロクロ成形後ヘラ状工具による横ナデ。胴下位外面回転ヘラ削り調整、内面ナデ調整。高台貼付、ナデ。底部糸切りか。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)					特 徴
			紡輪径	紡輪厚	軸 長	軸 径	重 量	
8	鉄製品 紡錘車	床密着 紡輪 $\frac{1}{2}$	5.2	0.4	(3.6)	0.5	20.0	紡輪一部欠損。軸の断面円形。

B-42号住居出土遺物観察表(第79図)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 底部欠 $\frac{1}{2}$	口(12.2) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。	
2	土師器 坏	覆土 口縁部欠 $\frac{1}{2}$	口— 底— 高—	①中砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。底部外面ヘラ削り。	
3	土師器 甕	床密着 胴部~底部	口— 底 5.0 高—	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	胴部~底部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	

B-44号住居出土遺物観察表(第81図 P L76)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	-3cm $\frac{1}{2}$	口 14.6 底— 高 4.9	①粗砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面横ナデか。	
2	土師器 甕	+6cm ほぼ完形	口 22.4 底 5.8 高 35.4	①粗砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。胴部最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
3	土師器 甕	-6cm 胴部~底部 $\frac{1}{2}$	口— 底 6.8 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の小型の甕と思われる。外面は胴部~底部ヘラ削り。内面はナデ。	胴部外面に煤付着。

B-45号住居出土遺物観察表(第84図 P L76)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	+7cm %	口(14.2) 底(8.3) 高3.9	①石英を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 坏	床密着 %	口12.7 底6.1 高3.7	①雲母・黒色鉱物を含む。 ②還元焰、良好 ③浅黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り後手持ちヘラ削り調整。	
3	須恵器 坏	-6cm 口縁部片	口(15.4) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。	墨書か。
4	須恵器 高台付塊	+9cm %	口15.8 底7.0 高5.6	①微細砂粒・雲母を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
5	須恵器 高台付塊	+5cm %	口(15.5) 底6.5 高5.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転糸切り(左か)。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
6	須恵器 高台付塊	床密着 %	口(16.0) 底(7.4) 高5.2	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②還元焰、やや軟質③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する。底部右回転糸切りか。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
7	須恵器 高台付塊	-2cm %	口(14.0) 底(5.6) 高5.0	①緻密 ②還元焰、良好 ③暗灰黄色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する。高台貼付。	体部下半～底部に黒斑。
8	須恵器 高台付塊	床密着 %	口(13.8) 底(6.0) 高4.9	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
9	須恵器 高台付皿	竈内 +5cm %	口12.8 底(7.3) 高2.7	①黒色細粒 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。転用硯として使用されたものと思われ内面が摩耗している。	外面の一部に自然釉。
10	須恵器 高台付皿	覆土 %	口(13.1) 底(6.6) 高3.1	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
11	土師器 甕	竈内 +2cm 口縁～胴	口(19.6) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③明赤褐色	「コ」の字状口縁。最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。頸部に輪積痕及び指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	土師器 甕	竈前 床密着 口縁～胴	口(20.0) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③明赤褐色	「コ」の字状口縁。最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。頸部に輪積痕。口縁部及び頸部に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
13	土師器 甕	竈内 床密着 口縁～胴	口(18.0) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。頸部に輪積痕及び指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
14	土師器 甕	+4cm 口縁部片	口(18.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。頸部に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-46号住居出土遺物観察表(第87図 P L77)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	-2cm %	口12.8 底— 高4.8	①細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。外稜を持ち、口縁部は僅かに内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	器面は荒れている。
2	土師器 坏	竈右脇 +4cm 底部欠	口(14.0) 底— 高—	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。口縁部横ナデ。体部ヘラ削り。	
3	土師器 甕	東壁際 +8cm 口縁部片	口(25.6) 底— 高—	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-47号住居出土遺物観察表(第90図 P L 77)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付塊	床密着 ほぼ完形	口 14.2 底 7.4 高 5.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	口縁部に煤付着。底部の荒れ著しい。
2	須恵器 高台付塊	-4cm %	口 14.2 底 6.8 高 5.2	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
3	須恵器 高台付塊	-6cm %	口(14.5) 底(6.5) 高 5.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	底部の荒れ著しい。
4	須恵器 高台付塊	覆土 %	口(13.6) 底 5.8 高 4.6	①緻密、雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り、棒状工具による沈線1条。高台貼付。高台部横ナデ。	
5	灰釉陶器 高台付塊	覆土 %	口(15.1) 底 - 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部外面回転ヘラ削り。施釉は漬け掛け。	
6	灰釉陶器 小瓶	覆土 %	口 - 底(6.4) 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。胴下半回転ヘラ削り。底部静止糸切り。胴部外面に貼付痕が2ヶ所あり。	

B-49号住居出土遺物観察表(第93図 P L 77)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 %	口(13.0) 底(6.9) 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③黄灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 坏	覆土 %	口(12.2) 底(5.4) 高 4.1	①緻密 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾。口縁部は外反する。	
3	須恵器 高台付塊	覆土 %	口(12.9) 底 6.2 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
4	須恵器 高台付塊	覆土 %	口 - 底 6.0 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
5	灰釉陶器 高台付塊	覆土 体部~底部 %	口 - 底(6.0) 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。施釉は漬け掛け。高台貼付。	
6	土師器 甕	甕内 +22cm 口縁~胴	口(17.2) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反し、端部で直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面上位はナデ、下位はヘラ削り。内面はナデ、指頭圧痕。	

B-50号住居出土遺物観察表(第95図 P L 77)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付塊	+11cm %	口(13.5) 底(6.4) 高 5.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。高台貼付。	
2	須恵器 高台付塊	+43cm 底部	口 - 底 6.0 高 -	①緻密・雲母を含む。 ②還元焰、良好 ③淡黄色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 高台付塊	甕内 ⅔	口(13.6) 底(5.7) 高 4.5	①緻密 ②酸化焰、良好 ③灰褐色	ロクロ成形。高台貼付。	内面に煤付着。
4	須恵器 高台付塊	+11cm 底部片	口(13.5) 底 6.3 高 5.2	①中砂粒・石英・黒色鉱物を含む。②還元焰、軟質③灰色	ロクロ成形。高台貼付。	器面荒れている。
5	土師器 甕	+7cm 口縁部片	口(20.8) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-52号住居出土遺物観察表(第97図 PL77)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付塊	+5cm 体部⅔欠	口 13.4 底 7.4 高 6.6	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。器形に歪みがある。	
2	灰釉陶器 高台付塊	+3cm ⅔	口(12.9) 底(6.6) 高 4.0	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。底部回転へら削り調整。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式
3	須恵器 羽釜	-4cm 口縁〜胴部⅔	口(22.0) 底 — 高 —	①細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③灰白色	口縁部は内傾する。口縁部内外面及び胴部外面ロクロ成形後へら状工具による横ナデ。胴部下半はへら削り。	
4	須恵器 羽釜	覆土 口縁部⅔	口(20.0) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	鐙は断面三角形を呈する。口唇部は平らで中央が凹状を呈する。	

B-53号住居出土遺物観察表(第100図 PL77・78)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 ⅔	口(10.0) 底 — 高(3.1)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部と体部との境に外稜がある。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。	器面の荒れ著しい。
2	土師器 甕	北東隅 -6cm 口〜胴部	口 24.9 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸胴を呈する大型の甕と思われる。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	土師器 甕	北東隅 -6cm ほぼ完形	口 23.4 底 6.8 高 34.7	①極粗砂粒・黒色鉱物・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部内外面へら削り、内面へらナデ。	
4	土師器 甕	北東隅 -5cm 口〜胴部	口 22.8 底 — 高 —	①極粗砂・小石・雲母・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③明赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面へらナデ。	
5	土師器 甕	床密着 胴〜底部	口 — 底 5.5 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	胴部〜底部の外面はへら削り、内面へらナデ。	
6	土師器 甕	床密着 底部欠	口 24.0 底 — 高 —	①粗砂・小石・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、底部付近は横方向、内面はへらナデ。	
7	土師器 甕	覆土 口縁部⅔	口(23.5) 底 — 高 —	①中砂・雲母・黒色鉱物・小石を含む。②酸化焰、良好③にぶい赤褐色	口縁部は短く、僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭瓦痕あり。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-54号住居出土遺物観察表(第102図 P L78)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 %	口(12.6) 底(4.8) 高 4.1	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	体部は内湾し、口縁部は外反する。ロクロ成形。 底部糸切り。	
2	須恵器 高台付塊	床密着 %	口(13.6) 底 6.4 高 5.9	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。底部糸切り。高台貼付。内面丁寧な ヘラ磨き。	内面黒色処理
3	土師器 土釜	+2cm 口縁~胴 部	口 28.5 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい赤褐色	大型の土釜。口縁部内外面横ナデ。胴部外面はヘ ラ削り後ヘラ磨き、内面はナデ。	

B-55号住居出土遺物観察表(第103図 P L78)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	P1内覆 土 %	口(15.4) 底(8.9) 高 4.3	①細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 坏	P3内覆 土 %	口(13.6) 底(9.4) 高 3.7	①細砂粒・赤・白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部~体部外面横ナデ、内面は横ナデ後放射状 ヘラ磨き。底部外面ヘラ削り。	
3	須恵器 坏	覆土 %	口(13.7) 底 — 高(3.8)	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部~体部ロクロ成形後横ナデ。底部付近回転 ヘラ削り。	
4	土師器 塊	+12cm %	口(15.8) 底 5.2 高 8.7	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ。胴部~底部外面ヘラ削り。内 面は横ナデ後ヘラ磨き。	内面黒色処理
5	土師器 小型甕	+20cm %	口 — 底 — 高 —	①中砂粒・白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐灰色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面は ヘラナデ。	

B-56号住居出土遺物観察表(第106図 P L78・79)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+13cm %	口 13.7 底 — 高 5.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。外稜は弱い。口 縁部は内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削 り後ヘラ磨き、内面ヘラ磨き。	
2	土師器 坏	+12cm %	口(14.8) 底 — 高 5.0	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。外稜は弱い。口 縁部外面は横ナデ。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
3	土師器 坏	覆土 %	口 15.2 底 — 高 4.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡橙色	口縁部は外傾する。口縁部と体部の境に沈線1条、 明瞭な外稜あり。口縁部外面は横ナデ。体部外面 ヘラ削り。内面は器面の荒れ著しい。	
4	土師器 坏	床密着 %	口(13.3) 底 — 高 4.3	①細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	口縁部は外傾。外稜は弱い。口縁部外面は横ナデ。 体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
5	土師器 坏	+6cm %	口(13.0) 底 — 高 4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	外稜あり。底部にくぼみあり。口縁部外面は横ナ デ。体部ヘラ削り後ヘラ磨き。内面はヘラ磨き。	
6	土師器 坏	覆土 %	口(10.7) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄色	口縁部は深く、底は浅い。口縁部は直立気味に立 ち上がる。口縁部外面は横ナデ、内面は丁寧なヘ ラ磨き。体部~底部の外面ヘラ削り。	内面黒色処理

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
7	土師器 高坏	覆土 脚部	口 — 底(14.4) 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	脚部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面はナデ。脚部は内外面横ナデ。	
8	須恵器 高坏	覆土 坏底部	口 — 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。坏部外面カキ目文、縦方向のカキ目。脚部の3カ所にスカシ孔。	
9	土師器 小型甕	+12cm 口縁部 $\frac{1}{2}$	口(15.2) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③明赤褐色	口縁部は「く」の字状に外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
10	土師器 甕	床密着 ほぼ完形	口 21.2 底 4.5 高 36.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面はヘラナデ。	
11	土師器 甕	+6cm 口縁~胴部	口 21.9 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	
12	土師器 甕	床密着 口縁~胴部	口 21.2 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は弓状に大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	

B-57号住居出土遺物観察表(第108・109図 P L79)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床密着 %	口 14.3 底 8.6 高 4.3	①微細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 坏	床密着 %	口 13.8 底 8.2 高 —	①中砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、中位に指頭圧痕。	
3	土師器 坏	ピット内 -3cm $\frac{1}{2}$	口(17.6) 底 — 高 —	①細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
4	須恵器 坏	+18cm %	口(13.5) 底 10.0 高 3.4	①微細砂粒・黒色細粒を含む。②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部~体部ロクロ成形後横ナデ。底部回転ヘラ切り後右回転ヘラ削り。	
5	須恵器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口 13.0 底(6.8) 高 3.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部~体部ロクロ成形後横ナデ。底部手持ちヘラ削り。	
6	須恵器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(14.1) 底(9.6) 高 4.1	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転ヘラ削り。ケズリ出し高台。	
7	須恵器 蓋	-4cm $\frac{1}{2}$	口(21.4) 摘 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄橙色	ロクロ成形。天井部は回転ヘラ削り。	
8	土師器 小型甕	床密着 口縁~胴部 $\frac{1}{2}$	口 15.1 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短く、外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
9	土師器 甕	+7cm 口縁~胴部 $\frac{1}{2}$	口(35.6) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
10	土師器 甕	竈煙道内 口縁~胴部	口 22.4 底 — 高 —	①中砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ、外面に輪積痕。胴部外面ヘラ削り。	
11	須恵器 長頸壺	覆土 胴部片	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。肩部に沈線2条。沈線間に縄文。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-58号住居跡出土遺物観察表(第111・112図 PL79・80)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	甕左脇 %	口 11.9 底 5.8 高 4.8	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転糸切り後手持ちヘラ削り。	
2	須恵器 坏	甕内 %	口 11.0 底 4.0 高 3.4	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 坏	北東隅 %	口 11.0 底 5.7 高 3.4	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	ロクロ成形。	器面の荒れが著しい。
4	須恵器 坏	覆土 %	口(14.0) 底(6.5) 高 4.8	①石英・黒色細粒を含む。②還元焰、軟質 ③褐灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	内面の一部に煤付着。
5	土師器 坏	甕左脇 %	口(15.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ、以下ヘラ削り。	内面の剥離が著しい。
6	須恵器 高台付塊	甕左脇 %	口 11.5 底 7.0 高 5.7	①微細砂粒・石英を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。体部下半は回転ヘラ削り調整。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	体部外面に煤付着。
7	須恵器 高台付塊	南東隅 ほぼ完形	口 12.0 底 7.0 高 4.2	①微細砂粒・雲母を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
8	須恵器 高台付塊	北西隅 %	口(13.5) 底 6.6 高 6.4	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。高台貼付。	
9	須恵器 高台付塊	甕左脇 %	口 14.5 底 5.8 高 8.0	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	体部は外傾する。ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。	
10	須恵器 高台付塊	北西隅 ほぼ完形	口 12.9 底 8.2 高 6.4	①細砂粒を多量に含む。②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は外反する。ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
11	須恵器 高台付塊	甕左脇 %	口(13.8) 底 8.0 高 5.8	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。高台貼付。	
12	灰釉陶器 高台付塊	覆土 %	口 16.0 底 8.0 高 6.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	体部内湾。ロクロ成形。体部下半回転ヘラ削り。底部ナデ調整。内外面に墨痕あり。内面に褐色の付着物(漆か)あり。施釉は潰け掛け。	体部外面墨書か。 虎溪山1号窯式
13	灰釉陶器 高台付塊	甕左脇 高台部	口 — 底 8.0 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	虎溪山1号窯式
14	灰釉陶器 高台付塊	覆土 高台部	口 — 底 6.5 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。施釉は潰け掛け。	
15	灰釉陶器 高台付皿	覆土 %	口(12.5) 底 6.1 高 3.2	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。底部ナデ調整。施釉は潰け掛け。	虎溪山1号窯式
16	須恵器 羽釜	甕左脇 口縁~胴部	口(18.0) 底 — 高 —	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③浅黄色	口縁部は内傾する。鑄は断面三角形で短い。	
17	須恵器 羽釜	口縁部 %	口(16.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。②還元焰、軟質 ③灰黄褐色	鑄は断面三角形を呈し、口縁部は内傾する。	

B-64号住居出土遺物観察表(第114図 P L80)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+14cm %	口 11.8 底 — 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾し、口唇部の器肉が薄い。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 坏	覆土 %	口 13.1 底 — 高 4.5	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾し、体部との境及び口縁部中央の2箇所弱い稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部ヘラ削り。	
3	土師器 甕	+2cm 底部欠	口 22.0 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	胴部に黒斑がある。
4	土師器 甕	+2cm 口縁～胴部	口(22.8) 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り。	

B-65号住居出土遺物観察表(第115図)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 甕	覆土 口縁～胴部	口(24.5) 底 — 高 —	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-66号住居出土遺物観察表(第118図 P L80)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	床密着 %	口(13.7) 底(8.5) 高 4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部～底部の外面ヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き。			
2	土師器 坏	+2cm %	口(13.4) 底(9.5) 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。			
3	須恵器 坏	-5cm %	口(14.8) 底(9.4) 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部外面下部回転ヘラ削り。底部手持ちヘラ削り。			
4	須恵器 蓋	床密着 %	口 15.0 摘 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り調整。天井部の器肉が厚い。内面が転用硯として使用され、中央部が摩耗している。			
5	土師器 台付甕	+4cm %	口(11.2) 底 — 高 —	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。胴部は中位で大きく張る。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
6	砥石	覆土 完形	12.1	3.5	3.0	254.9	流紋岩	自然石の4面を使用している。

B-67号住居出土遺物観察表(第120・121図 P L80・81)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+8cm ほぼ完形	口 14.2 底 — 高 5.5	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は内傾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
2	土師器 坏	床密着 ほぼ完形	口 14.4 底 — 高 4.1	①微細砂粒・角閃石・雲母を含む。②酸化焰、良好③灰褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。外稜は弱い。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は口縁～体部に横方向のナデ。	内外面に煤付着。		
3	土師器 坏	+19cm ほぼ完形	口 11.8 底 — 高 4.2	①緻密 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は外傾する。外稜は弱い。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面に指頭圧痕。	器形の歪みが著しい。		
4	土師器 坏	覆土 ½	口(15.4) 底 — 高 3.6	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は端部で短く内傾する。外稜あり。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は横ナデ。			
5	土師器 坏	+5cm ½	口(14.1) 底 — 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短く僅かに外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は横ナデ。			
6	土師器 小型甕	床密着 口縁～底部	口(12.7) 底 — 高 —	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は短く直立気味。口縁部は内外面横ナデ。体部へら削り。			
7	土師器 甕	+13cm 胴部～底部	口 — 底 9.5 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	大型の丸胴の甕と思われる。胴部外面へら削り、内面へらナデ。			
8	土師器 甕	+11cm ½	口(17.5) 底 5.0 高 29.8	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面底部→口縁部に向かって縦方向のへら削り、内面へらナデ。			
9	土師器 甕	+17cm 口縁～胴部	口(21.1) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	丸胴の甕。口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。			
10	土師器 甕	+11cm 口縁～胴部	口(31.2) 底(11.7) 高 34.9	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口径が大きく、口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面に縦方向のへらナデ、底部付近は横方向。			
11	土師器 甕	+2cm 胴部～底部	口 — 底 4.4 高 —	①粗砂粒含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部に径0.5cm程の小孔15個ある。胴部及び底部外面へら削り、内面へらナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
12	砥 石	+4cm 完形	17.8	8.4	5.6	1,605.3	流紋岩	3面に研磨の痕跡がある。
13	白 玉	覆土 完形	径1.1	孔径0.3	0.7	1.3	滑石	穿孔は中央から大きくずれている。

B-68号住居出土遺物観察表(第123図 P L81)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+23cm 完形	口 12.3 底 — 高 4.3	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好③浅黄色	丸底を呈する。口縁部は僅かに内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	内面に煤状の付着物あり。
2	土師器 坏	覆土 ½	口(13.0) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	

B-69号住居出土遺物観察表(第126図 P L81)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	-4cm ½	口(11.2) 底 — 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	土師器 坏	床密着 1/2	口(10.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部ヘラ削り。	
3	土師器 甕	+10cm 口縁部1/2	口(19.5) 底 — 高 —	①中砂粒・黒色鉱物・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい黄橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
4	土師器 甕	-3cm 口縁部1/2	口(21.1) 底 — 高 —	①中砂粒・黒色鉱物・雲母を含む。②酸化焰、良好③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
5	土師器 甕	床密着 口縁〜胴部	口 19.4 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-70号住居出土遺物観察表(第128図 P L81・82)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	南西隅 +9cm 1/2	口 11.5 底 — 高 3.8	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	
2	土師器 坏	+3cm 1/2	口(12.8) 底 — 高 4.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は外傾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ヘラ磨き。	
3	土師器 坏	南西隅 +14cm 1/2	口(14.0) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外傾する。外稜は明瞭。体部と口縁部の境に棒状工具による沈線2条。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ヘラ磨き。	内面黒色処理
4	土師器 坏	+8cm 1/2	口(13.4) 底 — 高 —	①赤色細粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外傾する。外稜は弱い。口縁部外面横ナデ。口縁〜体部内面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り。	内面黒色処理
5	土師器 高坏	+6cm 1/2	口(13.6) 底(7.5) 高 6.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾し、体部との境に弱い外稜がある。脚部は裾部で大きく開く。口縁部外面横ナデ。体部〜脚部外面ヘラ削り、脚部内面横ナデ。坏部内面横ナデか。脚部内面はヘラナデ。	
6	土師器 小型甕	床密着 口縁〜胴部 1/2欠	口 11.0 底 — 高 10.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部は短く僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ、指頭圧痕。	内面黒色処理
7	土師器 小型甕	床密着 1/2	口(11.1) 底(4.9) 高 11.0	①極粗砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、軟質 ③にぶい赤褐色	口縁部は内傾する。口縁部は内外面横ナデ。胴部と底部の外面ヘラ削り。胴部内面は丁寧なナデ調整。	内面黒色処理
8	土師器 小型甕	床密着 1/2	口(14.7) 底 — 高 13.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。丸胴の小型甕。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
9	土師器 甕	南西隅 +13cm 口〜胴部	口 21.3 底 3.6 高 37.1	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
10	土師器 甕	床密着 1/2	口 20.4 底(5.2) 高 32.3	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面、底部→口縁部に向かって縦方向のヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	
11	土師器 甕	+2cm 口縁〜胴部	口 22.0 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	土師器 甕	床密着 口縁〜胴部	口 23.0 底 — 高 —	①粗砂粒・白色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
13	土師器 甕	+10cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(21.4) 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-71号住居出土遺物観察表(第130図 P L 82)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+9cm $\frac{1}{4}$	口(13.0) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 甕	+7cm 口縁~胴 部 $\frac{1}{2}$	口(22.8) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面横方向のヘラナデ。	
3	土師器 甕	+23cm 口縁 $\frac{1}{2}$	口(23.8) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り。	

B-72号住居出土遺物観察表(第132図 P L 82)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(12.8) 底(7.3) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。底部外面ヘラ削り。	
2	須恵器 高台付 転用硯	覆土 底部	口 — 底 11.6 高 —	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐灰色	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り調整。内面が転用硯として使用され摩耗している。	

B-73号住居出土遺物観察表(第133図)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	覆土 口縁 $\frac{1}{4}$	口(10.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	小型の坏の小破片。ロクロ成形。	

B-74号住居出土遺物観察表(第135図 P L 82)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+49cm %	口 15.3 底 — 高 4.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 坏	+14cm %	口 13.4 底 — 高 4.3	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は内湾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
3	土師器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(16.0) 底(10.8) 高(4.3)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部~底部外面ヘラ削り。内面は口縁部~底面に横ナデ後放射状ヘラ磨き。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
4	土 師 器 坏	-3cm %	口(14.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ、指頭圧痕あり。体部外面へら削り。内面は口縁部～底面に横ナデ後放射状へら磨き。	
5	土 師 器 坏	+42cm %	口(10.8) 底 6.8 高 3.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	平底。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
6	土 師 器 坏	覆土 ほぼ完形	口 14.4 底 8.2 高 4.0	①細砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好③橙色	口縁部は内湾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
7	土 師 器 鉢?	+29cm 口縁～胴 上位%	口(27.8) 底 — 高 —	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面はへらナデ。	
8	土 師 器 甕	+49cm 口縁%	口(22.2) 底 — 高 —	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-76号住居出土遺物観察表(第137図 P L 82)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 皿	覆土 %	口(15.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	浅い皿。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。口縁部～体部内面横ナデ後放射状へら磨き。	
2	土 師 器 甕	覆土 %	口(22.0) 底 — 高 —	①極粗砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の甕の口縁部片と思われる。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-78号住居出土遺物観察表(第139・140図 P L 82・83)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成形・整形の特徴	備考
				計	測 値(cm・g)				
			全 長	幅	厚 さ	重 量	石 材	特 徴	
1	土 師 器 坏	竈右脇 床密着 口縁部欠	口 — 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色				底部の器肉が極めて厚い。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り、内面ナデ。	
2	土 師 器 甕	+9cm %	口 13.2 底 4.4 高 13.2	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい黄橙色				器形に歪みがある。口縁部は僅かに外反する。底部に径2.1cmの円孔。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面へらナデ。	内面黒色処理
3	土 師 器 甕	床密着 %	口 24.6 底 (9.4) 高 35.4	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色				口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面は底部→口縁部に向かって縦方向のへら削り、内面はへらナデ。	
4	砥 石	覆土 %	11.5	8.5	3.4	403.0	砂岩	両面に研磨痕。	
5	石 皿 ?	覆土 完形	10.4	10.2	3.1	434.4	変質安山岩	表面に凹状のくぼみをつけて使用。	

B-80号住居出土遺物観察表(第143図 P L 83)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+22cm %	口(10.7) 底 — 高 (3.2)	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	転用品と思われる小型の坏。体部外面へら削り、内面ナデ調整。口縁部は擦って平らにしている。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	土 師 器 坏	竈左 — 3cm ほぼ完形	口 14.5 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	転用品と思われるやや大型の坏。体部外面ヘラ削り、内面ナデ。口縁部は擦って平らにしている。	
3	土 師 器 坏	+21cm ほぼ完形	口 13.6 底 — 高 4.5	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部は内湾する。外稜は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	
4	土 師 器 坏	+22cm %	口(12.5) 底 — 高(4.5)	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄橙色	口縁部は内湾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面にヘラあて痕。	
5	土 師 器 塊	貯蔵穴周 辺床密着 ほぼ完形	口 12.6 底 — 高 11.1	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部は内傾する。口縁部と体部との境に明瞭な外稜。体部上部に焼成後の小円孔あり。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
6	土 師 器 鉢	貯蔵穴上 部— 4cm ほぼ完形	口 23.1 底 — 高 8.0	①粗粗砂粒・雲母・黒色 鉱物を含む。②酸化焰、 良好③にぶい赤褐色	丸底を呈する大型の鉢。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。口縁部内面横ナデ、体部内面ヘラナデ。	転用品か？
7	土 師 器 小 型 甕	竈右脇 — 4cm ほぼ完形	口 12.7 底 5.5 高 12.2	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
8	土 師 器 小 型 甕	貯蔵穴上 部— 8cm ほぼ完形	口 14.6 底 6.6 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部～底部の外面はヘラ削り。内面ヘラナデ。	
9	土 師 器 甕	竈右脇 + 7cm 底部欠	口 21.1 底 — 高 —	①粗粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ、外面にヘラあて痕。胴部外面下位→口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
10	土 師 器 甕	竈内 床密着 口～底部	口 — 底 6.2 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明褐色	胴部～底部の外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	
11	土 師 器 甕	貯蔵穴周 辺+18cm 口～胴部	口(23.2) 底 — 高 —	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
12	土 師 器 甕	貯蔵穴周 辺+ 4cm ほぼ完形	口 17.5 底 12.7 高 7.6	①細砂粒・赤色細粒を含 む。②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は僅かに外反する。底部に11個の小円孔あり。口縁部は内外面横ナデ。胴部～底部の外面ヘラ削り、内面ナデ。	

B—81号住居出土遺物観察表(第144図 P L84)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	覆土 %	口(14.3) 底 — 高 5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は僅かに外傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ナデ後ヘラ磨き。	
2	須 恵 器 坏 身	+ 3cm %	口(11.8) 底 — 高 4.0	①細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	口縁部は内傾する。回転ヘラ削り調整。底部にヘラ記号。	
3	須 恵 器 坏 身	+ 2cm %	口(11.8) 底 — 高 3.9	①細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	口縁部は内傾する。回転ヘラ削り調整。	
4	土 師 器 高 坏	床密着 %	口(18.4) 底 — 高 —	①中砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	高坏の坏部。口縁部は大きく外反する。体部は浅い。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り。	
5	土 師 器 高 坏	+12cm 脚部	口 — 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	高坏の脚部。外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面ナデ、下部に輪積み痕、指頭圧痕あり。	下部は2次的に火を受けている。
6	土 師 器 小 型 甕	床密着 口縁～胴 上位%	口(14.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
7	土師器 甕	床密着 ½	口(15.0) 底 6.7 高 22.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	折り返し口縁。胴部は中位で大きく膨らむ。口縁部内外面横ナデ。胴部外面斜め方向のヘラ削り、内面ヘラ削り。底部外面無調整。			
8	土師器 甕	+4cm 口縁〜胴 中位½	口 24.4 底(11.0) 高 24.9	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、胴部外面は縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
9	敲石	覆土 完形	9.0	5.1	2.2	99.3	頁岩	全面丁寧に磨ってある。先端部に使用痕。
10	白玉	床下 完形	径0.8	孔径0.3	0.4	0.6	滑石	側面は丁寧に研磨。上下面平坦。中央に穿孔。

B-82号住居出土遺物観察表(第149図 P L84・85)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈内 口縁½欠	口 13.2 底 — 高 3.9	①細砂粒・白色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	平底に近い丸底。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面放射状ヘラ磨き。	
2	土師器 坏	+5cm 口縁½	口 12.7 底 — 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	平底に近い丸底。口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	内面は器面が荒れている。
3	土師器 坏	+6cm %	口(14.4) 底 — 高 4.5	①微細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	平底に近い丸底。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。口縁部〜体部内面横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
4	土師器 坏	+9cm ½	口(14.8) 底 — 高 4.6	①微細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	平底に近い丸底。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。口縁部〜体部内面横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
5	土師器 甕	竈内 底部欠	口 23.6 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面胴下位→口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、胴下位→底部に向かって斜め方向ヘラ削り。内面ヘラナデ。	口縁〜胴上位に火を受けた痕跡。
6	土師器 甕	竈内 口縁〜胴 部	口(24.6) 底 — 高 —	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面下位→口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、下位→底部に向かって斜め方向のヘラ削り。内面はナデ調整。	
7	土師器 甕	竈内 口縁〜胴 部	口 23.0 底 — 高 —	①中砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面胴上位→口縁部は縦方向のヘラ削り、胴上位→底部に向かってヘラ削り。内面ヘラナデ。	
8	土師器 甕	竈内 底部欠	口 22.4 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面上位横方向のヘラ削り、中位→下位は斜め方向のヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	胴下位に火を受けている。

B-83号住居出土遺物観察表(第15・16図 P L85)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈左袖 床密着 %	口 13.5 底 — 高 4.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ、指頭圧痕。体部〜底部外面ヘラ削り。口縁部〜体部内面横ナデ後放射状ヘラ磨き。底部内面は螺旋状の暗文。	
2	土師器 坏	貯蔵穴付 近床密着 %	口(12.6) 底 — 高 4.0	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部横ナデ。体部ヘラ削り。	内面は器面の荒れが著しい。

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 坏	+18cm ⅔	口(12.8) 底 — 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。口縁部～体部内面は横ナデ後放射状へラ磨き。	
4	土師器 坏	+26cm ⅔	口 — 底 (7.5) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部外面へラ削り、内面は横ナデ後放射状へラ磨き。	
5	土師器 坏	+20cm ⅔	口 13.4 底 10.0 高 3.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は内湾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面に指頭圧痕。	
6	須恵器 坏	+34cm ほぼ完形	口 12.6 底 7.6 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部～体部回転へラ削り調整。底部回転へラ削り後回転へラ削り調整。外面に自然釉。器形に歪みあり。	
7	須恵器 坏	+17cm ⅔	口(12.3) 底 9.0 高 2.9	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	底部回転へラ削り後回転へラ削り調整。	外面に火だすき痕。
8	土師器 甕	覆土 口縁～胴 上位⅔	口(19.6) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面はへラナデ。	
9	土師器 甕	覆土 口縁～胴 上半⅔	口(19.8) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面はへラナデ。	
10	土師器 甕	甕付近 口縁～胴 上位	口(22.6) 底 — 高 —	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸胴の大型の甕と思われる。口縁部は僅かに外反し、端部で内傾する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面はへラナデ。	
11	土師器 甕	+4cm 口縁～胴 上半	口(20.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	丸胴の大型の甕と思われる。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面はへラナデ。	
12	土師器 甕	+12cm 口縁～胴 上位⅔	口(19.8) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄褐色	丸胴を呈する大型の甕と思われる。口縁部は短く、緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
13	土師器 甕	+4cm 胴部のみ	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の大型甕の胴部。外面へラ削り、内面ナデ調整。	
14	土師器 甕	覆土 口縁～胴 上位	口(23.6) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
15	土師器 甕	-10cm 口縁～胴 上位	口(19.5) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	胴部の外面に煤付着。

B-84号住居出土遺物観察表(第18図 P L85)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+19cm ⅔	口(13.5) 底 (9.2) 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面の口縁部～体部へラ磨き。	
2	須恵器 坏	覆土 ⅔	口 11.8 底 8.0 高 3.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。底部はへラ切り。	
3	土師器 甕	+24cm 口縁⅔	口(21.0) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部内面はへラナデ。	
4	土師器 甕	+24cm 口縁⅔	口(25.7) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B-88号住居出土遺物観察表(第151図 P L86)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 甕	+3cm 1/2	口(20.0) 底(7.2) 高27.1	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明褐色	口縁部は緩やかに外反する。胴部は内外面へら削り後へら磨き。	

B-89号住居出土遺物観察表(第151図 P L86)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 1/2	口(13.4) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面へら磨き。	
2	土師器 甕	覆土 1/2	口(17.1) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	土師器 甕	覆土 口縁部片	口(21.6) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部の小破片。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-91号住居出土遺物観察表(第154図 P L86)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏身	覆土 口縁~胴 上半1/2	口(13.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部は内傾する。外縁は明瞭。回転へら削り。口縁部に自然釉。	
2	須恵器 坏身	覆土 口縁部欠 1/2	口— 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰褐色	口縁部は内傾する。外縁は明瞭。回転へら削り。	
3	土師器 甕	覆土 口縁~胴 上半1/2	口(20.0) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り。	

B-92号住居出土遺物観察表(第154図 P L86)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	甕付近 +2cm 1/2	口13.0 底9.2 高4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部外面は面とりのにへら削り、横方向の沈線1条。体部外面へら削り。内面は口縁部~体部横ナデ後放射状へら磨き。	
2	土師器 甕	甕付近 床密着 口~胴部	口21.3 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	土師器 甕	甕付近 床密着 1/2	口(21.0) 底5.2 高29.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部は緩やかに外反する。胴部は上位で膨らむ。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
4	土師器 甕	甕付近 床密着 口~胴部	口21.8 底— 高—	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
5	土師器 甕	甕付近 床密着 口〜胴部	口 22.0 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
6	土師器 甕	床密着 口〜胴上	口(16.9) 底 — 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸胴の甕と思われる。口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-93号住居出土遺物観察表(第156図 P L86)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+4cm 1/2	口(14.3) 底 — 高 4.6	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は直立する。体部との境に外稜がある。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	内外面に煤付着。黒色処理か。
2	土師器 坏	-2cm 1/2	口(15.1) 底 — 高 —	①細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、軟質 ③浅黄橙色	口縁部は外傾する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	内外面に煤付着。黒色処理か。
3	土師器 高坏	床密着 脚部	口 — 底(14.8) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	脚部は「ハ」の字状に外開する。上部に接合部の棒状のホゾが観察できる。外面へら削り後へら磨き、内面ナデ。端部内外面横ナデ。	
4	土師器 甕	+6cm 口縁〜胴 上半1/2	口(16.5) 底 — 高 —	①粗砂粒・黒色鉱物・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい黄橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面へらナデ。	

B-95号住居出土遺物観察表(第159図 P L86)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 甕	覆土 口縁部欠	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部に焼成前の穿孔あり。	
2	土師器 小型甕	覆土 口縁〜胴 部1/2	口(14.5) 底 — 高 —	①細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短く、内傾する。胴部は丸胴を呈する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	土師器 甕	覆土 口縁〜胴 部1/2	口(20.0) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面ナデ。頸部に輪轡痕。	

B-100号住居出土遺物観察表(第161図 P L87)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床密着 1/2	口 13.2 底 — 高 3.2	①微細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は僅かに外傾する。口縁部内外面横ナデ。底部外面へら削り、内面ナデ。	
2	須恵器 甕	床密着 胴部1/2	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	外面平行叩目文。内面青海波文。	

B-102号住居出土遺物観察表(第164・165図 P L87)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	須恵器 高台付塊	+3cm %	口 14.0 底 (6.5) 高 4.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	体部～底部に煤付着。		
2	須恵器 坏	甕内 +2cm %	口 12.7 底 4.0 高 5.7	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。口縁部に歪みあり。			
3	須恵器 坏	貯蔵穴内 -24cm %	口(13.6) 底 4.0 高 6.5	①白色細粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	口縁部に煤付着。		
4	土師器 甕	甕付近 +5cm 口～胴部	口(17.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は「コ」の字状を呈す。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
5	土師器 甕	+7cm 口縁～胴 上半%	口(19.1) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は「コ」の字状を呈す。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
6	土師器 甕	+5cm 口縁部 %	口(16.4) 底 — 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
7	須恵器 甕	床密着 口縁～胴 上位%	口(27.0) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。胴部外面平行タキ目、内面に青海波文のアテ目。内面の口縁部と胴部の境に接合痕あり。			
8	灰釉陶器 長頸壺	床密着 胴下半～ 底部%	口 — 底(10.5) 高 —	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。胴部外面及び底部は回転ヘラ削り。高台貼付。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
9	敲 磨 石	+5cm 一部欠	15.5	6.7	4.5	823.1	粗粒安山岩	熱を受けた痕跡あり。上下に敲打痕が見られる。平坦面は磨石として使用か。

B-103号住居出土遺物観察表(第167図 P L87)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付塊	+19cm 底～高台 部	口 — 底 (6.5) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄褐色	ロクロ成形。底部糸切り。高台貼付。内面黒色処理後丁寧なヘラ磨き。	内面黒色処理
2	須恵器 羽 釜	-16cm 口縁部片	口(26.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや硬質 ③浅黄褐色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。鏝は断面三角形を呈する。	

B-109号住居出土遺物観察表(第169図 P L87)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床密着 %	口(11.6) 底 (7.6) 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	須恵器 坏	覆土 口縁部欠 %	口 — 底 (8.3) 高 —	①緻密 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 甕	+5cm 口縁部片	口(23.6) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	頸部～口縁にかけて、「く」の字状に外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
4	須恵器 長頸壺	覆土 口縁～頸部 $\frac{1}{2}$	口(10.2) 底— 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰オリーブ色	ロクロ成形。内外面に自然釉。	

B-110号住居出土遺物観察表(第172図 P L87)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土師器 坏	+7cm 完形	口12.0 底7.5 高3.7	①粗砂粒、6mmの小石を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。		
2	須恵器 坏	床密着 ほぼ完形	口13.4 底6.0 高3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。右回転糸切り。		
3	須恵器 坏	覆土 $\frac{1}{2}$	口(13.4) 底(8.0) 高3.6	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。		
4	土師器 甕	煙道内 +4cm 口～胴部	口(22.7) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
5	土師器 台付甕?	床密着 口縁 $\frac{1}{2}$	口(13.4) 底— 高—	①微細砂粒・角閃石を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				特徴
			全長	幅	厚さ	重量	
6	鉄製品 刀子	竈内 床密着 $\frac{1}{2}$	(12.7)	1.3	0.5	8.9	錆化の進行が著しく、棟区と刃区は明瞭に確認できない。

B-117号住居出土遺物観察表(第175図 P L88)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	竈周辺 $\frac{1}{2}$	口(9.0) 底(4.3) 高2.8	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部は荒れている。	
2	須恵器 小型坏	竈周辺 $\frac{1}{2}$	口(10.0) 底(4.0) 高3.3	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③におい橙色	ロクロ成形。左回転糸切り。	
3	須恵器 高台付埴	竈周辺 $\frac{1}{2}$	口13.5 底— 高—	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。底部糸切り。体部は内湾気味に立ち上がる。内面丁寧なへラ磨き。高台貼付。高台部横ナデ。	
4	須恵器 高台付皿	覆土 $\frac{1}{2}$	口(9.9) 底5.5 高3.1	①黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。体部横ナデ。高台貼付。	
5	須恵器 高台付皿	覆土 $\frac{1}{2}$	口(9.9) 底(5.3) 高3.0	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。体部横ナデ。高台貼付。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
6	須恵器 甕	甕周辺 胴上位～ 底部	口 — 底 16.8 高 —	①砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形(左回転)後、ヘラ磨き。高台貼付。	
7	須恵器 羽釜	甕周辺 口縁部	口(22.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	ロクロ成形。口縁部は僅かに内傾する。	

B-125号住居出土遺物観察表(第178図 P L88)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	床下覆土 %	口 9.6 底 4.0 高 3.2	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部の器肉が厚い。	
2	須恵器 坏	甕前部 +9cm %	口(14.9) 底 5.2 高 4.8	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	ロクロ成形。内面ヘラ磨き。	
3	須恵器 羽釜	甕内 -4cm %	口(20.2) 底 — 高 —	①細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ナデ。	
4	灰釉陶器 小瓶	覆土 頸部～胴 上半%	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。外面に施釉。	

B-126号住居出土遺物観察表(第181図 P L88)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	+2cm %	口(12.8) 底(7.0) 高 3.6	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り後一部に粘土貼付。	
2	須恵器 高台付坏	+6cm %	口 14.7 底 7.2 高 6.0	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。体部内面ヘラ磨き。底部右回転糸切り高台貼付。高台部内外面横ナデ。	内面及び口縁外面黒色処理。
3	須恵器 高台付坏	覆土 %	口(14.2) 底(8.0) 高 5.3	①微細砂粒・石英を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	ロクロ成形。底部回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
4	灰釉陶器 高台付坏	床密着 底部%	口 — 底(7.7) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半～底部回転ヘラ削り調整。高台貼付。高台部内外面横ナデ。内面は摩耗、2か所に朱の痕跡。	
5	須恵器 小型甕	+4cm %	口(11.5) 底(7.5) 高 13.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや硬質 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面はロクロ成形後ヘラ状工具による横ナデ。底部は手持ちヘラ削り調整。底部内面の中央に粘土貼付。	内面黒色処理
6	土師器 甕	+2cm %	口 19.7 底 4.0 高 23.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや硬質 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、口唇部に沈線1条。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。底部内面にヘラ押さえ痕。	
7	須恵器 片口	-3cm 一部欠	口 23.1 底 12.0 高 16.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。胴下部回転ヘラ削り調整。底部外面手持ちヘラ削り調整、内面はナデ。	
8	須恵器 羽釜	+5cm 口縁部片	口(19.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③灰黄色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-127号住居出土遺物観察表(第183図 P L88)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+4cm %	口(14.7) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③黄橙色	口縁部外面へラ磨き。体部外面へラ削り。内面は放射状へラ磨き。	
2	土師器 坏	+4cm %	口(14.2) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は口縁部へ体部に横ナデ後放射状へラ磨き。	
3	土師器 小型甕	床密着 口縁~胴 上位%	口(12.8) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ後へラ磨き。	口縁部に炭化物 付着。
4	土師器 甕	+12cm 口縁%	口(21.4) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③暗赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B-128号住居出土遺物観察表(第185図 P L89)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 %	口(12.9) 底(9.4) 高3.9	①細砂粒・2~3mmの小石を含む。②酸化焰、良好③黄橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面の口縁部へ体部横ナデ後へラ磨き。	
2	須恵器 坏	覆土 %	口(11.0) 底4.9 高3.5	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、堅緻③にぶい橙色	ロクロ成形。底部は静止糸切り。体部は内湾気味に立ち上がる。	
3	須恵器 坏	覆土 %	口10.8 底5.5 高3.6	①微細砂粒・輝石を含む。②酸化焰、堅緻③浅黄橙色	ロクロ成形。	器面は荒れている。
4	須恵器 高台付埴	覆土 %	口(10.8) 底5.8 高4.2	①石英・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好③にぶい橙色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。口縁部へ体部内面へラ磨き。	内面黒色処理
5	灰釉陶器 高台付埴	覆土 底部	口— 底9.2 高—	①緻密②還元焰、堅緻③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。内面に重ね焼き痕。施釉は漬け掛け。	虎溪山1号窯式
6	土師器 甕	覆土 口縁%	口(16.9) 底— 高—	①粗砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
7	須恵器 羽釜	覆土 胴下位~ 底部%	口— 底— 高—	①粗砂粒を含む。②酸化焰、堅緻③明赤褐色	外面へラ削り、内面ナデ。底部付近の器内が厚い。	
8	須恵器 羽釜	覆土 口縁部片	口(21.8) 底— 高—	①中砂粒・白色細粒を含む。②酸化焰、堅緻③明赤褐色	口縁部は短く、僅かに内傾する。胴部外面へラ削り。	

B-129号住居出土遺物観察表(第187図 P L89)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	+11cm 完形	口9.0 底4.5 高3.0	①粗砂粒を含む。②酸化焰、良好③赤褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 甕	貯蔵穴内 及び竈 口~底部	口(19.9) 底13.4 高29.0	①粗砂粒を含む。②酸化焰、堅緻③橙色	最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。胴上位にロクロ成形痕。頸部及び胴中位~下位の外面はへラ削り。胴部内面へラナデ。	底部は器面が荒れている。

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 転用品	覆土 一部欠損	縦 6.4 横 6.1	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	底部右回転糸切り。堦の底部を利用した転用品と思われる。周囲を丁寧に打ち欠いている。	

B-130号住居出土遺物観察表(第189図 P L 89)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm ほぼ完形	口 12.0 底 — 高 4.0	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部は内傾する。外稜は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面横ナデ、内面放射状へら磨き。	
2	土師器 坏	竈右脇 +5cm %	口 12.4 底 — 高 4.2	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸底を呈する。口縁部は内傾する。外稜は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は口縁部～体部横ナデ、指頭圧痕あり。	
3	土師器 坏	竈右脇 +18cm %	口 14.6 底 — 高 4.4	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。外稜は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。口縁部～体部横ナデ、指頭圧痕。	
4	土師器 坏	竈右脇 +21cm %	口(13.6) 底 — 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は外傾する。外稜は弱い。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面横ナデ後へら磨き。	
5	土師器 壺	竈右脇 床密着 %	口 9.5 底 4.9 高 18.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。胴部は丸胴を呈し、底部はくぼみ底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。肩部外面ナデ、針葉樹の葉の押圧痕。胴部へら削り後へら磨き。内面肩部の接合部に指頭圧痕。胴上位へらナデ、下位ナデ。	

B-131号住居出土遺物観察表(第189図 P L 89)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 小型甕	-6cm 口縁～胴 上半%	口(9.8) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面ナデ調整。	2次的に火を受けている。

B-133号住居出土遺物観察表(第192図 P L 89)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈左袖 +18cm %	口(12.7) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。体部外面へら削り。	
2	土師器 甕	+17cm 口縁部 %	口(18.3) 底 — 高 —	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
3	土製品 土錘	覆土 中央部一 部欠損	全長4.9 幅 1.4 重量9.9	①砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄褐色	円筒形を呈する。穿孔は中央から大きくずれている。孔径0.4cm。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-134号住居出土遺物観察表(第197図 P L 89・90)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+8cm %	口(13.0) 底(9.0) 高 4.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部との境に外稜あり。体部外面へラ削り。内面は横ナデ。	
2	土師器 坏	+41cm %	口(10.8) 底(7.2) 高 3.8	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部～底部の器肉が厚い。口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は横ナデか。	
3	土師器 坏	+13cm %	口(12.4) 底(8.6) 高 4.0	①細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は短い。口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は横ナデ後放射状へラ磨き。	
4	土師器 坏	-4cm %	口(13.6) 底 - 高(4.2)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は横ナデ後放射状へラ磨き。	
5	須恵器 坏	+17cm %	口 11.4 底 6.9 高 3.4	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。	外面に自然釉。
6	土製品 土 錘	+5cm %	全長(2.7) 幅 1.5 重量4.7	①砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	中央部に膨らみを持つ、円筒形の土錘と思われる。孔径0.4cm。	

B-135号住居出土遺物観察表(第205図 P L 90)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	床密着 %	口(13.2) 底 6.3 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	体部は内湾する。ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 高台付塊	床密着 %	口(15.0) 底 7.2 高 5.6	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
3	土師器 甕	-4cm 口縁～胴 上半%	口(18.5) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	器肉の薄い「コ」の字状口縁の甕。口縁部横ナデ、輪積痕・指頭圧痕あり。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
4	土師器 甕	+6cm 口縁～頸 部%	口(19.7) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	器肉の薄い「コ」の字状口縁の甕。口縁部横ナデ、輪積痕・指頭圧痕あり。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
5	須恵器 壺	+2cm 胴上半～ 底部	口 - 底(9.2) 高 -	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③外 黒褐色 内 橙色	ロクロ成形。外面の一部は器面の剝離著しい。	

B-136号住居出土遺物観察表(第207図 P L 90)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	貯蔵穴 口縁～体 部%	口(13.8) 底 - 高(3.8)	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部と体部との境に明瞭な外稜が認められる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
2	土師器 甕	床密着 体～底部	口 - 底(10.8) 高(22.8)	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	甕の胴下半部。外面はへラ削り。内面はへラ磨き。	

B-137号住居出土遺物観察表(第209図 P L90)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 ⅔	口(9.6) 底 4.6 高 3.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③橙色	ロクロ成形。左回転糸切り。	
2	灰釉陶器 高台付埴	覆土 口縁～体 部	口(15.8) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半部回転ヘラ削り調整。体部は内湾する。施釉は漬け掛け。	
3	灰釉陶器 高台付埴	覆土 ⅔	口(17.6) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	口縁部小破片。ロクロ成形。	
4	須恵器 羽釜	+3cm 口縁～胴 上半	口(21.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。口縁部は僅かに内傾する。罫は断面三角形を呈する。	

B-138号住居出土遺物観察表(第213・214図 P L90・91)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	-2cm ⅔	口(14.5) 底(6.2) 高 4.2	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。口縁部は外反する。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 高台付埴	床密着 口縁～底 部⅔	口(16.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。高台貼付。底部右回転糸切り。	高台剥離
3	須恵器 高台付埴	+3cm ⅔	口(14.3) 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	ロクロ成形。口縁部は外反する。高台貼付。底部右回転糸切り。	
4	須恵器 高台付埴	床密着 ⅔	口 15.6 底 7.5 高 5.3	①白色細粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。高台貼付。高台部内外面横ナデ。底部右回転糸切り。	
5	須恵器 高台付皿	+14cm ⅔	口(13.3) 底 7.0 高 2.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。底部回転糸切り後ヘラ描の文様あり。高台貼付。転用硯に使用された可能性があり、内面が摩耗している。	
6	灰釉陶器 高台付埴	+1cm ⅔	口 14.5 底 6.3 高 4.7	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。体部及び底部回転ヘラ削り調整。高台貼付。施釉は刷毛掛け。	光ヶ丘1号窯式
7	灰釉陶器 高台付埴	+7cm 体部～底 部⅔	口 — 底(7.4) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部及び底部回転ヘラ削り調整。内面に灰釉。施釉は刷毛掛け。	黒笹14号窯式
8	灰釉陶器 高台付埴	覆土 口縁部片	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。内面及び口唇部施釉。	墨書か。
9	須恵器 鉢	床密着 ⅔	口 23.8 底 10.1 高 11.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。底部右回転糸切り。	内面はイブシ。
10	土師器 小型甕	+8cm 口縁～胴 上半⅔欠	口(12.3) 底 5.4 高 14.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面はハケメ状工具によるヘラナデ。	内面に煤付着。
11	土師器 小型甕	+1cm 口縁～胴 上半	口 12.2 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	土師器 甕	床密着 ⅔	口 19.5 底(5.0) 高 26.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ハケメ状工具によるヘラナデ、指頭圧痕及び輪積痕。	
13	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上半⅔	口(20.9) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
14	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	全長4.4 幅 1.8 重量10.5	①細砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	中央部に膨らみを持つ。形状は円筒形を呈する。 孔径0.4cm。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
15	磨石 敲石	—12cm 完形	20.6	17.5	5.3	2,900.0	石英斑岩	表裏の2面を磨面として使用、側面に敲打痕。

B-139号住居出土遺物観察表(第218・219図 P L91)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+15cm ⅔	口(12.0) 底(8.0) 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面の口縁部へ体部横ナデ後へラ磨き。	
2	須恵器 坏	南壁 +10cm ⅔	口 12.9 底 7.8 高 3.1	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③褐灰色	ロクロ成形。底部右回転系切り。	外面と内面の口縁端部にイブシ。
3	須恵器 坏	南壁 +9cm ⅔	口(12.6) 底 5.6 高 3.5	①微細砂粒・石英を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③淡黄色	ロクロ成形。底部右回転系切り。	内外面イブシ。口縁部に歪み。内面に付着物。
4	須恵器 坏	+21cm ⅔	口(14.6) 底(8.9) 高 3.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転系切り。底部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
5	須恵器 坏	覆土 ⅔	口 9.8 底 3.6 高 3.2	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。体部外面に棒状工具痕。底部右回転系切り。	内面に褐色の付着物。
6	須恵器 坏	覆土 底部	口 — 底 7.4 高 —	①緻密 ②還元焰、やや軟質 ③内 灰白色 外 灰色	ロクロ成形。底部右回転系切り。	底部に墨書。外面イブシ。
7	須恵器 高台付塊	床密着 ⅔	口(12.4) 底 7.0 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転系切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
8	灰釉陶器 高台付皿	+12cm 底部～高台部	口 — 底 7.0 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③明褐灰色	ロクロ成形。底部回転へラ削り。高台(三ヶ月)貼付。施釉は刷毛掛け。	光ヶ丘1号窯式
9	土師器 小型甕 台付甕か	+13cm 口縁～胴 上位⅔	口(11.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。体部外面へラ削り、内面へラナデ。	
10	土師器 甕	+10cm 口縁部片	口(20.3) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
11	須恵器 壺	+23cm 口縁部	口 10.5 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③暗赤褐色	ロクロ成形。口縁端部に外縁帯を持つ長頸壺と思われる。	
12	須恵器 羽釜	—8cm 口縁～胴 上半⅔	口(18.8) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。胴下位はへラ削り。	
13	須恵器 壺	覆土 把手	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	壺の把手部と思われる。一部に自然釉。	
14	土製品 土錘	床密着 上部欠損	全長(3.4) 幅 1.7 重量7.7	①細砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	中央部に膨らみを持つ。上部を欠くが円筒形を呈するものと思われる。	
15	土製品 土錘	床密着 一部欠損	全長3.9 幅 1.8 重量8.6	①細砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	中央部は大きく膨らむ。上端部を僅かに欠くが円筒形を呈する。孔径0.6cm。	

B-140号住居出土遺物観察表(第221図 P L91)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+27cm %	口(12.0) 底 — 高 4.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部は丸底を呈し、底部の器内がきわめて厚い。 口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面ナ デ。	
2	土 師 器 坏	覆土 %	口(12.7) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部の幅は狭く、内傾す る。口縁部内外面横ナデ。体部外面はへら削り。	
3	土 師 器 坏	+22cm %	口(13.4) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部は丸底を呈し、口縁部と体部の境に明瞭な稜 を持つ。口縁部横ナデ。底部外面へら削り。	
4	土 師 器 高 坏	覆土 坏部%	口(17.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	高坏の坏部。底部が浅く、口縁部が大きく開く。 口縁部外面横ナデ、内面横ナデ後へら削り。体部 外面へら削り。	
5	土 師 器 甕	+2cm 口縁~胴 上位%	口(20.7) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③浅黄橙色	大きな丸胴の甕。口縁部は緩やかに外反する。口 縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へら ナデ。	
6	土 師 器 甕	+33cm 底部%	口 — 底(10.9) 高 —	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい黄橙色	甕の胴下半部と思われる。底部に円形状の穴が穿 たれている。外面へら削り、内面へらナデ。	
7	土 師 器 甕	+27cm 口縁~胴 上位%	口(17.8) 底 — 高 —	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③浅黄橙色	小型の甕の胴上半部と思われる。口縁部内外面横 ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
8	土 製 品 丸 玉	床密着 完形	径 1.05 厚さ0.9 重量0.9	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	円形を呈し、中央部が細く穿孔されている。孔径 0.1cm。	
9	炭化物 木の実種子	覆土 %	全長2.0 厚さ0.9 重量1.08	木の実種子の炭化した物。一部を欠損。		

B-141号住居出土遺物観察表(第200・201図 P L92)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+17cm %	口 12.6 底 9.4 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は内外面丁寧な横ナデ。体部~底部外面へ ら削り。	
2	土 師 器 坏	+21cm %	口(15.0) 底(10.2) 高 5.3	①中砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は器 面が荒れている。	
3	須 恵 器 坏	+19cm %	口 13.4 底 7.7 高 3.6	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰黄褐色	ロクロ成形。右回転糸切り。体部に条痕。	
4	須 恵 器 坏	+17cm %	口 13.0 底 7.4 高 3.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。右回転糸切り。	
5	須 恵 器 坏	+17cm %	口(11.0) 底(6.1) 高 3.4	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。体部外面に自然釉。	
6	須 恵 器 塊	覆土 底部~高 台部	口 — 底(11.1) 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部下半部及び底部回転へら削り調 整。高台貼付。高台部横ナデ。	
7	須 恵 器 塊	+14cm 体部下 半~底 部%	口 — 底(8.0) 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。高台部横 ナデ。	
8	須 恵 器 蓋	+23cm ほぼ完 形	口(17.0) 摘 3.3 高 3.9	①白・黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	宝珠形のつまみを持つ蓋。ロクロ成形。天井部は 回転へら削り調整。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
9	須恵器 長頸壺	+21cm 口縁 $\frac{1}{2}$ ~ 胴部上半	口(11.0) 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。内面に接合痕。		
10	須恵器 壺	+10cm 肩部 $\frac{1}{2}$	口 — 底 — 高 4.0	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。肩部に沈線4条。		
11	土師器 台付甕	+10cm $\frac{1}{2}$	口(12.4) 底 10.3 高 19.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ、頸部との境に棒状工具による押さえ。台部は「ハ」の字状に外開する。		
12	土師器 台付甕	+18cm 台部欠損	口 10.5 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面の上部は横方向のナデ、以下は縦方向のナデ。台部外面横ナデ、内面ナデ。		
13	土師器 甕	甕周辺床 密着口縁 ~胴上半	口 21.0 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。		
14	土師器 甕	+33cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(20.3) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③暗赤褐色	口縁部内外面横ナデ、指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。		
15	土師器 甕	甕内+5 cm 口縁 ~頸部片	口(21.4) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、胴部外面へら削り、内面へらナデ。		
16	土師器 甕	床密着 口縁部	口 19.4 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、胴部外面へら削り、内面へらナデ。		
17	土師器 甕	+10cm 胴部~底 部	口 — 底 12.6 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	胴部~底部の外面へら削り、内面はナデ。		
18	土師器 甕	+10cm 口縁~胴 部 $\frac{1}{2}$	口(30.5) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③明赤褐色	器肉が厚く、口縁部は外反する。口唇部に沈線1条。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面ナデ。		
19	土師器 甕	+25cm 口縁~胴 部 $\frac{1}{2}$	口(21.8) 底 — 高 —	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部の器肉が厚い。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り後へら磨き、内面はハケメ状工具によるナデ。		
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				特 徴
			全長	幅	厚さ	重量	
20	鉄製品 鎌	+8cm	(9.9)	3.7	0.5	26.7	先端部、基部ともに欠損。全体に錆化が進行している。

B-142号住居出土遺物観察表(第224図 P L93)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+4cm $\frac{1}{2}$ 弱	口(13.4) 底(8.7) 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。内面は横ナデ後へら磨き。	
2	須恵器 坏	+13cm $\frac{1}{2}$	口(12.0) 底(8.7) 高 4.1	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	口縁部~体部ロクロ成形後丁寧な横ナデ。底部は回転へら切り後回転へら削り。	
3	須恵器 坏	覆土 体部~底 部 $\frac{1}{2}$	口 — 底(8.4) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転へら削り。	
4	須恵器 蓋	覆土 $\frac{1}{2}$	口(13.8) 摘 — 高 —	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。つまみ欠損。	
5	須恵器 高台付坏	+3cm 底部	口 — 底 10.5 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。底部回転へら削り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
6	土器 小型甕	+24cm 口縁～頸部 $\frac{1}{2}$	口(14.3) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	「コ」の字状口縁を持つ小型の甕。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	
7	土器 甕	+13cm 口縁～頸部 $\frac{1}{2}$	口(24.8) 底— 高—	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
8	土器 甕	+13cm 胴部 $\frac{1}{2}$	口— 底— 高—	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	丸胴を呈する大型の甕と思われる。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	

B-143号住居出土遺物観察表(第225・227図 P L93)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							1	土器 坏
2	土器 坏	+30cm %	口(13.4) 底— 高 4.7	①白・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。底部ヘラ削り。	底部に黒斑あり。		
3	土器 坏	竈覆土 $\frac{1}{2}$	口(13.8) 底— 高—	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に弱い稜を持つ。口縁部横ナデ。底部ヘラ削り。			
4	土器 高坏	+10cm 坏部 $\frac{1}{2}$	口(20.0) 底— 高—	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	底部は浅く、口縁部は大きく開く。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。底部外面ヘラ削り。			
5	土器 甕	竈右脇 床密着 口～胴部	口 20.4 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面は器面の荒れが著しい。	2次的に火を受けている。褐色の付着物。		
6	土器 甕	竈内 床密着 口～胴部	口(19.2) 底— 高—	①細砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	口縁部横ナデ。胴部は外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
7	土器 甕	床密着 胴下位～ 底部	口— 底(7.0) 高—	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部の器内が厚い。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
8	紡錘車	—6cm 上下欠損	径 4.0	孔径 0.7	1.1	25.6	滑石	扁平な紡錘車であり、上下面ともに一部欠損。
9	砥石	床密着 完形	19.2	10.2	5.1	1,388.5	砥沢石	4側面をすべて砥石に使用している。特に一面を多く使用し、中央が凹状を呈する。
10	敲磨石	+5cm 完形	14.1	8.8	3.6	681.2	粗粒安山岩	2側面を磨り面として使用している。先端部に敲打痕。
11	磨石	床密着 完形	14.5	8.0	4.6	702.2	変質安山岩	2側面を磨り面として使用している。
12	敲石	床密着 完形	13.0	9.0	3.1	500.9	緑色片岩	1面に研磨痕が見られる。先端部に敲打痕あり。

B-144住居出土遺物観察表(第230・231図 P L93・94)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	竈右脇 床密着 ほぼ完形	口 11.7 底— 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。底部外面ヘラ削り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
2	土師器 小型甕	住居外南 壁付近 %	口 11.9 底 — 高 12.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。外面は横方向のヘラ削り。内面ヘラ削後丁寧なヘラ磨き。	底部及び口縁外面に黒斑。内面黒色処理		
3	土師器 小型甕	竈右袖内 床密着	口 15.2 底 — 高 15.8	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	胴部煤付着。		
4	土師器 小型甕	床密着 胴～底部	口 — 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する小型甕と思われる。外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
5	土師器 甕	竈内 +6cm %	口 23.0 底 4.6 高 33.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部に最大径を持つ長胴甕。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面は中位→口縁部に向かって斜め方向のヘラ削り、中位→底部に向かって縦方向のヘラ削り、内面はヘラナデ。			
6	土師器 甕	床密着 ほぼ完形	口 24.4 底 12.6 高 28.9	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰 ③橙色	口縁部は短く、「く」の字状に外反。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。			
7	須恵器 甕	+9cm 胴部小片	口 — 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄色	外面平行叩目文。内面同心円文。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
8	砥石	+7cm ほぼ完形	10.0	4.0	2.0	153.1	砥沢石	4側面を砥石として使用している。一面に未貫通の円孔あり。

B-145号住居出土遺物観察表(第235・236図 P L94)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+17cm %	口 12.0 底 — 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部～底部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
2	土師器 坏	+16cm %	口(12.6) 底 — 高 2.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は内外面横ナデ。底部ヘラ削り。	
3	土師器 坏	+34cm %	口(16.2) 底(12.0) 高 3.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面無調整。底部外面ヘラ削り。内面は横ナデ。	
4	土師器 坏	+1cm %	口(17.0) 底 11.4 高 5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
5	土師器 坏	竈内 %	口(17.4) 底 — 高 5.8	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ。	
6	土師器 坏	+16cm %	口(13.7) 底 — 高 3.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部～底部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。内面にヘラ記号。	
7	土師器 皿	竈内 床密着 %	口 15.5 底 — 高 2.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部～底部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
8	須恵器 坏	+20cm %	口(16.0) 底(10.5) 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半～底部回転ヘラ削り調整。	
9	須恵器 坏	+34cm %	口(13.6) 底(9.6) 高 3.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	ロクロ成形。体部下半～底部回転ヘラ削り調整。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
10	須恵器 坏	+27cm %	口(13.8) 底(9.8) 高 3.5	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③黄灰色	ロクロ成形。体部下半回転ヘラ削り。底部は回転ヘラ切り後回転ヘラ削り。			
11	須恵器 坏	覆土 %	口(15.5) 底(11.8) 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半～底部回転ヘラ削り調整。ケズリ出し高台。			
12	須恵器 坏	+23cm %	口(15.7) 底(11.3) 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半～底部回転ヘラ削り調整。			
13	須恵器 坏	+26cm %	口(8.4) 底 6.2 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③白色	ロクロ成形。口縁部に沈線2条。底部回転ヘラ削り調整。ケズリ出し高台。			
14	須恵器 蓋	覆土 %	口(13.6) 摘 4.2 高 2.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	つまみは環状を呈する。天井部は回転ヘラ削り。天井部の器肉が厚い。口縁端部は折り。			
15	須恵器 小型壺	覆土 胴部%	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。肩部に沈線1条。胴部の器肉が厚い。			
16	須恵器 壺	-14cm 胴下位～ 底部%	口 — 底(6.5) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。底部付近回転ヘラ削り調整。			
17	土師器 小型甕	+9cm %	口(12.2) 底 — 高 —	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
18	土師器 小型甕	ピット内 -8cm 口～胴部	口 13.3 底 — 高 —	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
19	土師器 小型甕	床密着 口縁～胴 上位	口(15.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。			
20	土師器 甕	+14cm 口縁～胴 上半%	口(22.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
21	土師器 甕	+33cm 口縁～胴 上位%	口(30.7) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
22	土師器 鉢	+33cm 口縁～胴 上位%	口(27.3) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
23	土師器 甕	竈覆土 口縁～胴 上半	口 26.6 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
24	砥石	+5cm 一部欠	14.8	9.6	5.0	832.1	砥沢石	3側面を砥石として多く使用しており、3面とも中央部が凹状にくぼんでいる。

B-146号住居出土遺物観察表(第239図 P L94・95)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm %	口(13.8) 底 — 高 6.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。口縁部外面横ナデ後ヘラ磨き、内面横ナデ。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ヘラナデ。	
2	土師器 坏	+5cm %	口(14.6) 底 — 高 5.1	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部は緩やかに外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面の口縁部～体部横ナデ後ヘラ磨き。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 坏	+2cm ㄥ	口(11.5) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り、内面へらナデ。	
4	土師器 坏	+2cm ㄥ	口12.6 底— 高4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③赤褐色	器内が厚い。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
5	土師器 甕	+3cm 口縁~胴 上位ㄥ	口(20.0) 底— 高—	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
6	土師器 甕	+5cm 口縁部ㄥ	口(21.0) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
7	土製品 支脚	覆土 ㄥ	口(6.0) 底(6.2) 高5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面はへら削り。内面はナデ、指頭圧痕あり。	

B-147号住居出土遺物観察表(第241図 P L95)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+7cm ㄥ	口(14.0) 底— 高5.3	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は僅かに外傾する。外稜は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。口縁部~体部内面横ナデ後へら磨き。底部内面へらナデ。	

B-148号住居出土遺物観察表(第244図 P L95)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm ㄥ	口(12.8) 底— 高4.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に弱い稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り後へら磨き。内面に指頭圧痕。	
2	土師器 坏	+5cm ㄥ	口(13.5) 底— 高—	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	底部は丸底を呈し、浅く器内が厚い。口縁部横ナデ。体部の外面へら削り。	
3	土師器 坏	覆土 ㄥ	口(15.0) 底— 高5.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄橙色	底部は丸底を呈し、浅く器内が厚い。口縁部外面横ナデ後へら磨き。体部外面へら削り。	
4	土師器 埴	+18cm ㄥ	口14.9 底— 高7.6	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部と口縁部の境に明瞭な稜を持ち、丸底を呈する。口縁は短く、内傾する。口縁部横ナデ。体部外面へら削り、内面へらナデ。	底部に黒斑がある。
5	土師器 小型甕	ピット内 -17cm ㄥ	口(14.8) 底6.7 高14.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	胴部中央に最大径を持つ小形甕。口縁部内外面横ナデ。胴部外面は底部→口縁部に向かって縦方向のへら削り。内面へらナデ。	底部に黒斑あり。胴部内面煤付着。
6	土師器 甕	床密着 底部	口— 底7.5 高—	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	外面へら削り、胴部に指頭圧痕。内面へらナデ。	

B-149号住居出土遺物観察表(第248・249図 P L95)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 埴	覆土 口縁~体 部ㄥ	口(9.9) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部と体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部横ナデ。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
2	土師器 ミニチュア	覆土 1/2	口(5.7) 底(4.5) 高 5.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③橙色	体部外面無調整、指頭圧痕あり。内面指ナデ。			
3	土師器 甕	竈上部 +2cm 3/4	口(22.6) 底 5.0 高 34.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面は底部→口縁部 に向かって縦方向のヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	胴部下半煤付 着。		
4	土師器 甕	竈上部 +2cm ほぼ完形	口 22.0 底 3.7 高 34.7	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面は胴部下半→口 縁部に向かって縦方向のヘラ削り、胴部下半→底 部に向かってヘラ削り。内面はナデ。	胴部下半煤付 着。		
5	土師器 甕	+32cm 口縁部	口 22.0 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面はヘラ削り、内 面ヘラナデ。			
6	須恵器 甕	+31cm 口縁部1/2	口 14.5 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
7	敲 石	+19cm 完形	8.5	7.0	4.7	375.5	砂岩	側面のほぼ全周に敲打痕が見られる。

B-150号住居出土遺物観察表(第252図 P L 95・96)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	+23cm 完形	口 13.0 底 — 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	底部は丸底を呈する。口縁部との境には明瞭な稜 を持つ。口縁部横ナデ。体部ヘラ削り、体部内面 に指頭圧痕。	
2	土師器 環	+10cm 1/2	口(12.6) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄橙色	底部は丸底を呈する。口縁部との境には明瞭な稜 を持つ。口縁部横ナデ。体部ヘラ削り、内面はヘ ラ磨き。	
3	土師器 高 環	+6cm 脚部1/2	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面ヘラ磨き。内面ヘラ削り後ナデ。	
4	土師器 甕	+24cm 口縁～胴 上位1/2欠	口(22.3) 底 10.5 高 3.2	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	大型の甕。口縁部内外面横ナデ、外面に沈線2条。 胴部外面下位→口縁部に向かってヘラ削り、底部 付近は横方向のヘラ削り。胴部内面ナデ、底部付 近ヘラ削り。	
5	土師器 甕	+24cm 底部欠損	口(22.6) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部に最大径を持つ長胴甕。口縁部内外面横ナ デ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 甕	+24cm 胴部1/2 欠損	口(21.6) 底 5.0 高 35.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に最大径を持つ長胴甕。口縁部内外面横ナ デ。胴部外面は下位→口縁部に向かって縦方向の ヘラ削り、底部付近は横方向のヘラ削り。胴部内 面ナデ。	

B-151号住居出土遺物観察表(第185図 P L 96)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	覆土 口縁～体 部1/2	口(14.2) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面 ヘラ削り。内面は口縁部～体部横ナデ後ヘラ磨き。	
2	須恵器 環 身	覆土 1/2	口(8.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	口縁部は内傾する。外稜は明瞭。ロクロ成形。口 縁部横ナデ。体部上半ナデ、以下ヘラ削り後ヘラ 磨き。口縁部の一部に自然釉。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 高坏	覆土 坏部 $\frac{1}{4}$	口(14.4) 底— 高—	①中～粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ後へラ磨き、内面は横ナデか。	
4	土師器 甕	覆土 口縁部片	口— 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。外面はへラ削り。	

B-152号住居出土遺物観察表(第255図 P L96)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	-10cm 完形	口 11.4 底 5.8 高 3.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	ロクロ成形。体部～口縁は内湾気味に立ち上がる。底部右回転糸切り。	黒斑あり。
2	灰釉陶器 高台付皿	+2cm $\frac{1}{4}$	口(12.2) 底 7.3 高 2.7	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転へラ削り調整。高台貼付。施釉は漬け掛け。	丸石2号窯式
3	須恵器 羽釜	+3cm 口縁 $\frac{1}{4}$	口(20.8) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。口縁部は短く内傾する。罫は断面三角形で丁寧貼付。	
4	須恵器 羽釜	床密着 口縁 $\frac{1}{4}$	口(20.2) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。罫は断面三角形で丁寧貼付。	
5	土製品 丸玉	+2cm 完形	径 1.1 厚さ0.9 重量0.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ほぼ球形を呈する土製の丸玉。中央部に孔径0.1cm程の小円孔あり。	

B-153号住居出土遺物観察表(第258図 P L96)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土師器 坏	-7cm $\frac{1}{2}$ 弱	口(11.7) 底(8.3) 高 4.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	内面は器面が荒れている。	
2	須恵器 坏	-4cm $\frac{1}{4}$	口 13.0 底 7.0 高 3.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	器形に歪みがある。	
3	須恵器 高台付境	北壁下 +8cm $\frac{1}{4}$	口(14.9) 底 7.7 高 5.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がる。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。		
4	須恵器 高台付境	+13cm $\frac{1}{4}$	口(15.5) 底 7.4 高 6.2	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がる。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。		
5	須恵器 高台付皿	竈内 床密着 $\frac{1}{4}$	口(14.2) 底(6.4) 高 2.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。内面の中央は転用硯に使用されたものと思われる摩耗している。		
6	土師器 甕	竈内 床密着 口～胴部	口(18.7) 底— 高—	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	器内の薄い「コ」の字状口縁の甕。口縁部内外面横ナデ、外面の上部に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ、中位に指頭圧痕。		
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値(cm・g)			石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量	
7	敲 石	+14cm 完形	15.5	5.3	4.7	619.0	デイサイト 表裏の全面を磨面として使用している。側面の上下に敲打痕。

B-154号住居出土遺物観察表(第261図 P L96)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈右脇 +5cm 1/2	口 13.5 底 — 高 4.3	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	丸底を呈する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り後へら磨き、内面ナデ後へら磨き。	
2	土師器 坏	竈内 +11cm 1/2	口(12.6) 底 — 高 4.1	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部は内傾し、外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り後へら磨き、内面横ナデ後へら磨き。	
3	土師器 甕	+8cm 口縁~胴部 1/2	口(15.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
4	土師器 甕	床密着 +21cm 口縁部 1/2	口(19.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	
5	土師器 甕	床密着 +6cm 口~胴上	口(18.6) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-155号住居出土遺物観察表(第265図 P L97)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 1/2	口 13.7 底 6.7 高 3.1	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 坏	+2cm 1/2	口(13.2) 底(5.7) 高 3.2	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 高台付塊	-2cm 口縁部欠 1/2	口 — 底(7.0) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
4	灰釉陶器 高台付塊	覆土 体~台部 1/2	口 — 底(7.6) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部外面回転へら削り調整。高台貼付。高台部内外面横ナデ。内面に灰釉、施釉は潰け掛け。	虎溪山1号窯式
5	土師器 甕	+8cm 口縁 1/2	口(17.7) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	器肉の薄い「コ」の字状口縁の甕。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へらナデ。	

B-156号住居出土遺物観察表(第265図 P L97)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	貯蔵穴内 -10cm 1/2	口(12.8) 底 5.4 高 4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	ロクロ成形。体部内面へら磨き。	内面黒色処理
2	須恵器 坏	竈内 +13cm 体~底部	口 — 底(5.5) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③にぶい橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。体部内面へら磨き。	内面黒色処理
3	須恵器 坏	竈前部 +1cm 1/2	口(12.4) 底(8.4) 高 3.8	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部及び底部周辺回転へら削り調整。	
4	須恵器 高台付塊	+9cm 底部 1/2	口 — 底(7.4) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	底部摩滅

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
5	土師器 甕	竈内 +1cm ¼	口(20.3) 底 4.6 高 25.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	器内の薄い「コ」の字状口縁の甕。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面ナデ。内面底部周辺はハケメ状工具によるナデ。	
6	土師器 甕	貯蔵穴内 -4cm 口~胴部	口(20.2) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	胴部内面に煤付着。
7	土師器 甕	貯蔵穴上 部+11cm 口~胴部	口(19.6) 底 - 高 -	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B-157号住居出土遺物観察表(第269図 P L97)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	貯蔵穴内 -37cm ほぼ完形	口 10.6 底 4.5 高 3.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部にへラ状の工具痕。	口縁部に歪みあり。
2	須恵器 坏	貯蔵穴内 -35cm 完形	口 10.7 底 5.2 高 3.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 坏	貯蔵穴内 -36cm ¼	口(11.0) 底 4.9 高 3.3	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
4	須恵器 坏	貯蔵穴内 -27cm ¾	口(11.1) 底 4.2 高 3.3	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部の器内は厚い。	
5	須恵器 高台付境	貯蔵穴上 部-2cm ¾	口(13.8) 底 6.4 高 6.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③灰黄褐色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。	内面黒色処理
6	須恵器 高台付境	竈内 +3cm ¾	口(11.0) 底 6.2 高 4.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。高台部横ナデ。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。	内面黒色処理
7	須恵器 高台付坏	貯蔵穴上 部-10cm ¾	口 16.0 底 8.0 高 6.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
8	灰釉陶器 高台付皿	貯蔵穴上 部-6cm ¾	口(14.0) 底 7.3 高 2.6	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。高台貼付。施釉は漬け掛け。	虎溪山1号窯式
9	灰釉陶器 長頸壺	床密着 胴下位~ 底部¼	口 - 底(11.2) 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③褐灰色	ロクロ成形。胴部外面回転へラ削り調整。	
10	灰釉陶器 長頸壺	竈内 +3cm 底部¼	口 - 底(15.5) 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。胴下部手持ちへラ削り調整。	
11	灰釉陶器 長頸壺	北東隅 床密着 口縁¼	口 - 底 - 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。	
12	須恵器 羽釜	竈右 +5cm 口縁部片	口(20.0) 底 - 高 -	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	ロクロ使用。口縁部は内傾する。	
13	須恵器 羽釜	貯蔵穴上 部-9cm 口縁部片	口 - 底 - 高 -	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。外面叩目。口縁部は内傾する。	
14	土製品 土錘	床密着 完形	全長3.8 幅 1.6 重量7.9	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③灰白色	中央部に膨らみを持つ。孔径0.5cm。	

番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
15	磨石	貯蔵穴内 完形	14.5	13.2	5.3	1,368.3	ひん岩	表裏の2面を磨面として使用している。

B-158号住居出土遺物観察表(第271図 PL97)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床密着 %	口 12.8 底 — 高 3.7	①細砂・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄橙色	丸底を呈する。外稜は明瞭。口縁部内外面横ナデ。 体部外面へら削り。	
2	土師器 坏	南壁下 +3cm ほぼ完形	口 13.5 底 — 高 5.5	①細砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄橙色	丸底を呈する。外稜は明瞭。口縁部はやや内傾す る。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	

B-159号住居出土遺物観察表(第273図)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 口縁~体 部%	口(14.0) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③灰白色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に明瞭な稜を持 つ。口縁は短く、体部は深い。口縁部内外面横ナ デ。底部はへら削り。	
2	土師器 甕	+1cm 胴下位~ 底部%	口 — 底(8.0) 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面へら削り。内面ナデ。	

B-160号住居出土遺物観察表(第275図 PL97・98)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	覆土 %	口(12.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。体部~底部外面へら削り。			
2	土師器 甕	床密着 口縁~頸 部%	口(23.0) 底 — 高 —	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面へ らナデ。			
3	土製品 丸玉	床密着 完形	径 0.95 厚さ 0.7 重量 0.6	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	土製の小玉と思われる。中央付近に0.15cm程の貫 通した小円孔がある。球形でなく穴のある面が平 らになる。表面は黒色処理。			
4	土製品 丸玉	床密着 完形	径 0.85 厚さ 0.6 重量 0.4	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	3の玉とほぼ同じである。貫通した穴の位置は中 央から大きくずれている。孔径0.15cm。表面は黒 色処理。			
5	土製品 丸玉	床密着 完形	径 0.9 厚さ 0.6 重量 0.4	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	3の玉とほぼ同じである。貫通した穴の位置は中 央からややずれている。孔径0.2cm。表面は黒色処 理。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石材	特徴
			全長	幅	厚さ	重量		
6	砥石	床密着 完形	6.9	2.0	6.2	154.5	砥沢石	6面すべてを使用している。全面に研磨の 痕跡。
7	砥石	床密着 完形	21.0	7.2	4.2	466.3	凝灰質砂岩	表面1面のみを使用。

1 住居跡出土遺物観察表

B-163号住居出土遺物観察表(第280・281図 P L98)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	+10cm 口縁～底 部欠	口(16.8) 底 — 高 4.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄色	底部は極めて浅く、口縁部との境に明瞭な稜を持つ。底部は丸底を呈する。口縁部は大きく外反する。口縁部外面横ナデ後へら磨き。底部外面はへら削り後へら磨き。内面はへら磨き。	内面黒色処理		
2	土師器 坏	+11cm %	口(16.0) 底 — 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にふい橙色	底部は極めて浅く、丸底を呈する。口縁部との境に明瞭な稜を持ち、口縁部は大きく外反する。口縁部外面横ナデ後へら磨き。底部外面はへら削り後へら磨き。内面はへら磨き。	内面黒色処理		
3	土師器 坏	貯蔵穴内 -11cm %	口(14.2) 底 — 高 4.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。底部外面へら削り。			
4	土師器 坏	+19cm %	口(14.0) 底 — 高 3.9	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部との境に弱い稜を持つ。口縁部外面横ナデ、指頭圧痕あり。内面横ナデ後へら磨き。底部外面へら削り。			
5	土師器 坏	+4cm %	口(15.6) 底 — 高 (5.7)	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③赤褐色	底部は丸底を呈する。底部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部外面横ナデ、指頭圧痕あり。底部外面へら削り。内面横ナデ後へら磨き。			
6	土師器 高坏	竈右脇 床密着 坏部欠	口(18.4) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	高坏の坏部。底部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁は大きく外反する。外面へら磨き。内面横ナデか。			
7	土師器 小型甕	+8cm 口縁～頸 部欠	口(10.3) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。頸部に指頭圧痕あり。胴部外面へら削り、内面ナデ。			
8	土師器 甕	貯蔵穴内 及び床面 欠	口(13.0) 底 5.8 高(14.7)	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にふい橙色	最大径は胴部中央にある。口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部は下→上方向にへら削り。			
9	土師器 甕	ピット内 口縁～胴 上半欠	口(20.1) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	最大径を口縁部に持つ長胴甕。口縁部は大きく外反。口縁部内外面横ナデ。胴部外面は下→上方向にへら削り、煤付着。内面横方向のへらナデ。			
10	土師器 甕	+7cm 口縁～胴 上位欠	口(19.8) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にふい黄橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。頸部→胴部に向かって下方向のへら削り。胴部内面へらナデ。	胴部外面に褐色の付着物。		
11	土師器 甕	+18cm 頸～胴部 欠	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	胴部外面下→上方向にへら削り。内面は器面が荒れている。			
12	土師器 甕	床密着 胴上位 欠	口(16.2) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にふい黄橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面下→上方向にへら削り。内面へらナデ。			
13	土師器 甕	+3cm 底部のみ	口 — 底 3.8 高 6.1	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にふい褐色	甕の底部と思われるが、丁寧に縁を欠いたあとが観察でき転用品の可能性が考えられる。外面へら削り。内面はへらナデ後へら磨き。	内面黒色処理		
14	土師器 甕	床密着 胴下位～ 底部欠	口 — 底 (7.3) 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄色	甕の胴部～底部と思われる。胴部外面は上→下に向かって縦方向のへら削り。内面はへらナデ。底部付近は内外面横方向のへら削り。			
15	土師器 ミニチュア	床密着 底部欠	口 6.2 底 (4.7) 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にふい橙色	外面横ナデ、指頭圧痕あり。内面ナデ調整。			
18	土製品 紡錘車	+31cm 完形	径 5.5 厚さ2.2 重量 59.4	①砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄色	上面に膨らみを持つ土製の紡錘車である。下面は平坦である。中央部に孔径0.8cm程の貫通した円孔がある。			
番号	器種	出土状況 残存状況	測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			計 全 長	幅	厚 さ	重 量		
16	砥石	+6cm 完形	12.9	7.4	4.1	510.9	砥沢石	1面を多く使用しており、中央部が凹状になっている。
17	砥石	床密着 欠	14.3	8.0	3.5	559.6	粗粒安山岩	主に片面(表面)を使用している。表面に研磨の痕跡がみられる。

B-165号住居出土遺物観察表(第282図)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈覆土 口縁部片	口(14.9) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	

B-167号住居出土遺物観察表(第285図 P L 99)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm %	口(12.2) 底— 高4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部は丸底を呈する。底部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。内外面黒色処理。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。底部外面はヘラ削り後ヘラ磨き、内面はヘラナデ後ヘラ磨き。	
2	土師器 坏	+2cm %	口(7.0) 底— 高6.0	①黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい橙色	底部は丸底を呈する。底部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部外面に棒状工具で沈線、内外面ともに横ナデ後ヘラ磨き。底部はヘラ削り。	底部に黒斑あり。

B-169号住居出土遺物観察表(第288・289図 P L 99)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	床密着 %	口15.7 底— 高5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部は平底に近い丸底を呈する。体部～口縁部は直線的に外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。体部～底部の内面は放射状ヘラ磨き。	
2	土師器 坏	床密着 %	口(15.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部と底部の境に弱い稜がある。口縁部は内外面横ナデ。口縁～底部にかけて内面に放射状のヘラ磨き。底部外面ヘラ削り。	
3	土師器 台付甕	床密着 %	口11.5 底9.0 高13.4	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は短く緩やかに外反する。台部に歪みが認められる。口縁部は内外面横ナデ。胴部～台部外面はヘラ削り。胴部・台部ともに内面ヘラナデ。	
4	土師器 甕	床密着 %	口23.0 底5.5 高31.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	器肉の薄い甕。最大径は口縁部にある。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。肩部は右→左方向にヘラ削り。胴部右下→左上方向にヘラ削り。内面ヘラナデ。	
5	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上半	口23.6 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	器肉の薄い甕。最大径は口縁部にある。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ、外面指頭圧痕。肩部は右→左方向にヘラ削り。胴部左上→右下方向にヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	
6	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上半	口23.0 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	最大径を口縁部に持ち、口縁部は大きく外反する。内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。肩部右→左方向にヘラ削り。胴部外面右下→左上方向にヘラ削り。内面ヘラナデ。胴部に煤付着。	
7	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上半	口30.0 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	最大径を口縁部に持つ。口縁部は大きく外反し、内外面横ナデ。肩部左→右方向にヘラ削り。胴部外面右下→左上方向にヘラ削り。内面ヘラナデ。	
8	土師器 甕	竈内 口縁部%	口(18.5) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸胴の甕の口縁部片と思われる。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部は内外面横ナデ。肩部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
9	須恵器 甕	貯蔵穴内 —19cm 胴下半部	口— 底— 高—	①石英粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	大型の甕の胴部片。外面平行叩目文、内面に青海波文。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-170号住居出土遺物観察表(第292図 P L99)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	-2cm ほぼ完形	口 13.8 底 - 高 4.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は外反する。口縁部は内外面とも丁寧な横ナデ。体部外面へら削り。体部内面に指頭圧痕及びへらあて痕あり。	
2	須恵器 甕	-6cm 口縁部片	口(14.4) 底 - 高 -	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。口縁部横ナデ。肩部外面にカキ目(縦の後横)、内面青海波文。内面の口縁部と肩部の境にへらおさえ痕。	
3	土師器 甕	覆土 底部片	口 - 底 - 高 -	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	甕の底部片と思われる。外面へら削り。	

B-171号住居出土遺物観察表(第294図 P L99)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	162住内 完形	口 11.9 底 8.6 高 3.8	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へら削り。	内面は器面の荒れが著しい。
2	須恵器 坏	北東隅 床密着 %	口(12.0) 底 6.8 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③黄灰色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。	口縁部に歪み。
3	須恵器 坏	覆土 %	口(12.2) 底(6.8) 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部は右回転糸切りか。	

B-172号住居出土遺物観察表(第297図 P L100)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+21cm 完形	口 12.6 底 - 高 4.7	①中～粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
2	土師器 高坏	+31cm 坏部 $\frac{3}{4}$ ～ 脚部上半	口(17.5) 底 - 高 -	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	坏部の体部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部外面横ナデ、体部へら削り。内面は器面の荒れが著しい。脚部外面へら削り後へら磨き。内面指ナデ。	
3	土師器 甕	南西隅 床密着 $\frac{3}{4}$	口(21.7) 底 - 高 -	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈する浅い甕と思われる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へら削り、内面はへらナデ。	
4	土師器 甕	+14cm %	口 15.8 底 6.5 高 22.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	最大径を胴部を持つ。口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面は底部→口縁部に向かって縦方向のへら削り。内面はへらナデ。	2次的に火を受けた痕跡がある。器面荒れている。

B-173号住居出土遺物観察表(第266図 P L100)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	+8cm $\frac{3}{4}$	口(12.0) 底(6.7) 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③淡黄色	ロクロ成形。底部摩滅。	
2	土師器 坏	+12cm 口縁部片	口(14.7) 底・高-	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい橙色	外面の口縁部横ナデ、体部～底部へら削り。内面は横ナデ。	

B-175号住居出土遺物観察表(第301・302図 P L100)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土器 高 坏	床密着 %	口 16.6 底 12.0 高 14.0	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	坏部は内湾し、脚部は裾部で大きく開く。坏部口縁横ナデ、坏部内面は黒色処理を施し、縦方向のヘラ磨き。坏底部～脚部の外面は丁寧なヘラ削り。脚部内面はヘラナデ、端部外面横ナデ、内面はヘラ削り。			
2	土器 甕	+10cm 口縁～胴 上位%	口(12.8) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	胴中央部に最大径を持つ丸胴の甕。口縁は直立して立ち上がり、端部で僅かに外傾。口縁部横ナデ。頸部～胴部外面ヘラ削り、胴部内面ヘラナデ。			
3	土器 甕	甕内 +6cm ほぼ完形	口 18.2 底 4.5 高 33.0	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部に最大径を持つ。胴部外面は底部～口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、内面はヘラナデ。口縁部は内外面横ナデ。			
4	土器 甕	甕内 床密着 口縁部欠	口(23.7) 底 5.0 高 37.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部に最大径を持つ長胴甕。口縁部は大きく外反する。胴部外面は底部～口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、内面はヘラナデ。口縁部横ナデ。			
5	土器 ミニチュア	+6cm 口縁部欠	口 3.7 底 2.3 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	手握ねのミニチュア土器。内外面に指ナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
6	砥 石	+18cm 完形	13.6	8.1	4.4	733.9	砂岩	3面が使用されており、3面に研磨の痕跡が認められる。
7	磨 石	+14cm 完形	18.2	9.3	9.0	1,957.2	粗粒安山岩	自然石をそのまま使用している。使用面は1面のみ。

B-176号住居出土遺物観察表(第304図 P L100・101)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	+3cm %	口(15.0) 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は端部で内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は黒色処理後、ヘラ磨き。外面は赤色塗彩。	内面黒色処理
2	土器 坏	+15cm %	口(11.8) 底 — 高 (4.1)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③灰白色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は黒色処理後丁寧なヘラ磨き。	内面黒色処理
3	土器 坏	覆土 %	口(17.2) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ磨き。内面は横ナデ後ヘラ磨き。内外面に赤色塗彩。	
4	土器 坏	+16cm %	口(11.3) 底 — 高 4.1	①白色粗粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部～底部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面に指頭圧痕。	
5	土器 坏	覆土 %	口(15.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③灰白色	口縁部外面横ナデ。体部との境に明瞭な外稜がみられる。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ。	
6	土器 高 坏	+22cm 坏部%	口(19.6) 底 — 高 —	①白・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	高坏の坏部。底部は浅く、口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。底部外面ヘラ削り。	
7	土器 高 坏	+10cm 脚部上半	口 — 底 — 高 —	①中～粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	高坏の脚部。外面はヘラ磨き。内面には指頭圧痕と輪積痕が認められる。	
8	土器 小 型 甕	+22cm 口縁部%	口(13.2) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り。	
9	土器 甕	-9cm 胴部	口 — 底 — 高 —	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸胴の甕と思われる。胴部外面ヘラ削り、内面はナデ。	底部に黒斑ナデ。

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
10	土師器 ミニチュア	床密着 一部欠	口 3.9 底 3.4 高 2.5	①緻密 ②酸化焰、良好 ③におい橙色	ミニチュアの手握ね土器。内外面指ナデ。			
11	土製品 丸玉	覆土 完形	径 1.0 厚さ1.0 重量0.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	球形を呈する丸玉。中央部に径0.1cm程の貫通した小円孔あり。			
12	土製品 紡錘車	床密着 完形	径 4.2 厚さ0.9 重 19.8	①砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③におい橙色	両面ともほぼ平坦。中央部に孔径0.6cm程の円孔。上下面ともヘラ削り。			
13	土製品	覆土 1/2	現高4.7 孔径4.5	①赤色粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄橙色	鐸形の土製品の上部と思われるが下部が欠損しているため、明瞭ではない。上部に貫通孔あり。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
14	磨石	+12cm 両端欠損	16.3	10.8	4.7	1,503.3	砂岩	両面に一部擦痕が見られる。

B-177号住居出土遺物観察表(第306図 P L101)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	+6cm 完形	口 13.8 底 — 高 4.5	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部が浅く丸底を呈する。体部と口縁部の境に稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面はヘラ削り、内面には指頭圧痕が認められる。			
2	土師器 坏	竈前 床密着 完形	口 14.0 底 — 高 4.5	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	丸底を呈する。体部と口縁部の境に明瞭な稜を持つ。口縁部は内傾する。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。			
3	土師器 坏	竈前 床密着 ほぼ完形	口 13.8 底 — 高 4.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③におい橙色	丸底を呈する。体部と口縁部の境に弱い稜を持つ。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面には指頭圧痕が観察できる。			
4	土師器 坏	竈前 床密着 1/2	口(13.5) 底 — 高 3.9	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	丸底を呈する。体部と口縁部の境に明瞭な稜を持つ。口縁部は内外面横ナデ。底部外面ヘラ削り、内面ナデ。			
5	土師器 坏	貯蔵穴上 部—5cm 1/2	口(13.6) 底 — 高 4.0	①細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	浅く丸底を呈する。口縁部は内傾する。口縁部と体部の境に明瞭な稜を持つ。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面指頭圧痕。			
6	土師器 高坏	+7cm 脚部上半	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③におい橙色	脚部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面は上部ナデ、下部ヘラ削り。坏部脚部ともに内面に黒色処理を施す。			
7	土師器 高坏	覆土 脚部1/2	口 — 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③におい橙色	外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ナデ調整。			
8	土師器 甕	北壁寄り 胴下位～ 底部	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	胴部外面ヘラ削り。胴部と底部の境で内面ヘラナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			径	厚 さ	孔 径	重 量		
9	白玉	—9cm 完形	1.1	0.9	0.3	1.3	滑石	中心部に貫通孔。側面は比較的丁寧に磨かれている。

B-180号住居出土遺物観察表(第308図 P L101)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	貯蔵穴内 -6cm 1/2	口(13.9) 底— 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する浅い坏。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面横ナデ後ヘラ磨き。	

B-182号住居出土遺物観察表(第311・312図 P L101・102)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	貯蔵穴内 -12cm 完形	口 13.5 底— 高 5.5	①細砂粒・赤色粒含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部との境に明瞭な稜を持ち、底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面ナデ整形。内面に煤付着。	体部内面に刻字あり。
2	土師器 坏	貯蔵穴内 -3cm 完形	口 13.0 底— 高 4.0	①中砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。②酸化焰、堅緻③橙色	底部が浅く器肉が厚い。丸底を呈するが体部との境の稜は明瞭ではない。口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り後ヘラ磨き。外面に黒斑。	
3	土師器 坏	貯蔵穴内 -5cm 完形	口 13.3 底— 高 4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部との境に明瞭な稜を持ち、底部は丸底を呈す。口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。底部外面の1/2に黒斑あり。	
4	土師器 坏	竈左脇 床密着 ほぼ完形	口 12.6 底— 高 6.3	①細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部と口縁部との境に弱い稜を持ち、底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ、体部は外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
5	土師器 坏	貯蔵穴内 -10cm 一部欠	口 13.2 底— 高 5.2	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部と口縁部の境に弱い稜を持ち、底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り。口縁部の外面に煤付着。	
6	土師器 坏	貯蔵穴内 -8cm ほぼ完形	口 12.0 底— 高 4.2	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部が浅く器肉が厚い。口縁部は内外面横ナデ。体部の外面はヘラ削り。	
7	土師器 坏	床密着 1/2	口(11.4) 底— 高 3.1	①細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	体部との境に明瞭な稜を持ち、底部は丸底を呈する。浅く、器肉も薄い。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
8	土師器 鉢	貯蔵穴内 -5cm ほぼ完形	口 11.9 底 6.5 高 7.1	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	器形の歪みが著しい。口縁部は内外面横ナデ。体部外面無調整、指頭圧痕あり。内面にはヘラあて痕が観察できる。底部外面はヘラ削り。	
9	土師器 小型甕	床密着 口縁部欠	口(17.6) 底 6.3 高(13.5)	①極粗砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
10	土師器 高坏	床密着 脚部のみ	口— 底(14.8) 高—	①微細砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	脚部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面ヘラナデ。	
11	土師器 ミニチュア	床密着 口縁部欠	口— 底(4.0) 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部外面上半横ナデ、下半ヘラナデ、内面はナデ整形。底部外面ヘラ削り。	
12	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上位1/2	口 18.4 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
13	土師器 甕	+16cm 口縁～底 部	口 17.6 底 6.0 高 38.0	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。口縁～胴部に火を受けた痕跡あり、一部に煤付着、胴下位に黒斑あり。	

2 掘立柱建物跡出土遺物

B-2号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第315図 P L102)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 坏	ピット内 覆土 ⅔	口(13.1) 底 — 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。			
2	土師器 坏	ピット内 覆土 ⅔	口(11.8) 底(7.8) 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値(cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
3	砥 石	ピット内 一部欠	4.8	4.8	0.8	21.3	安山岩質凝灰岩	薄い板状の石の表面のみを使用している。

B-5号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第317図)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 ⅔	口(13.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾する。内外面とも器面の荒れが著しい。	

3 土坑・集石出土遺物

B-24号土坑出土遺物観察表(第322図 P L102)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	弥生土器 甕形土器	底面付近 ⅔	口(44.6) 底 9.0 高 47.2	①粗砂粒を含む。 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部に最大径を持ち、胴部は中位で大きく膨らむ。口縁部は緩やかに外反する。口唇部に押圧文を施す。胴部外面へラ磨き、内面は条痕文か。	底部木葉痕

B-25号土坑出土遺物観察表(第322図 P L103)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	弥生土器 壺形土器	底面付近 ⅔	口 — 底(9.2) 高 —	①中砂粒を含む。 ②良好 ③橙色	頸部は細く、口縁部は大きく外反する。最大径は胴中位か。頸部に平行沈線2条。胴部外面はハケメ後へラ磨き。	胴上位に靱圧痕がある。

B-11号土坑出土遺物観察表(第328図 P L102)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+7cm ⅔	口 13.2 底(9.8) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部は外傾し、口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面に指頭圧痕。	
2	土師器 坏	+5cm ⅔	口(13.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は口縁部～体部横ナデ後放射状へラ磨き。	

B-2・5号掘立柱建物跡出土遺物 B-24・25・11・13・20・26号土坑出土遺物

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 坏	覆土 底部片	口 — 底 (7.5) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。底部回転ヘラ切り。	
4	土師器 甕	底密着 口縁部～ 胴上位	口(21.2) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は緩やかに外反し、端部で内傾する。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	

B-13号土坑出土遺物観察表(第328図 P L102)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付塊	底密着 %	口(13.9) 底 (7.3) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。右回転。高台貼付。高台部横ナデ。	
2	須恵器 羽釜	+14cm 口縁破片	口(29.5) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	ロクロ成形。口縁部は僅かに内傾し、鋳は断面三角形を呈する。	

B-20号土坑出土遺物観察表(第328図 P L102)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付塊	+20cm 底部破片	口 — 底 7.5 高 —	①微細砂粒・石英含む。 ②酸化焰、良好 ③明黄褐色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。体部ヘラ磨き。	内面黒色処理
2	須恵器 高台付塊	+15cm 底部破片	口 — 底 6.0 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	ロクロ成形。底部回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
3	灰釉陶器 高台付塊	+12cm %	口(15.4) 底 8.5 高 7.3	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾する。底部は右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。施釉は漬け掛け。	虎溪山1号窯式

B-26号土坑出土遺物観察表(第328図 P L103)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm 口縁欠	口(12.7) 底 8.5 高 3.5	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 坏	+14cm %	口(14.2) 底 (9.0) 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁端部の器肉は極めて薄い。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
3	土師器 坏	+13cm %	口(12.6) 底 — 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈し、体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	内外面器面が荒れている。
4	土師器 坏	+10cm %	口(11.6) 底 — 高 (3.2)	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈し、体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
5	土師器 小型台付 甕か	+2cm 口縁～胴 部%	口(12.8) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 小型台付 甕	+4cm 台部のみ	口 — 底 9.0 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	台部は「ハ」の字状に外開する。胴部外面ヘラ削り。台部は内外面横ナデ。	

4 グリッド出土遺物

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
7	土師器 甕	+9cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(19.7) 底— 高—	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り。	
8	土師器 甕	+3cm 口縁~胴 上位 $\frac{1}{2}$	口(19.8) 底— 高—	①細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好③に ぶい橙色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-2号集石出土遺物観察表(第330図 PL103)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	底密着 完形	口 11.9 底 8.0 高 4.1	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部外面横ナデ、体部外面ヘラ削り。内面は横 ナデ。	
2	須恵器 坏	底密着 $\frac{1}{2}$	口(12.7) 底 7.3 高 3.7	①細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。右回転糸切り。	
3	須恵器 坏	底密着 $\frac{1}{2}$	口(12.0) 底 (7.0) 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。右回転糸切り。	
4	須恵器 坏	底密着 $\frac{1}{2}$	口(11.9) 底 7.8 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。回転ヘラ切り。	外面の底部付近 に褐色の付着 物。

4 グリッド出土遺物

グリッド出土遺物観察表(第331~335図 PL103~106)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	Bn-35G 口~胴部 片	口(27.8) 底— 高—	①繊維・少量の粗砂粒を 含む。 ②良好 ③暗褐色	口縁部は僅かに外反し、鋸歯状口縁を呈する。口 縁部文様帯は頸部の2条の隆起線によって分帯さ れ、上位の隆起線より派生する隆起線が斜位に伸 びる。おそらく文様帯内を大型鋸歯状区画するの であろう。区画内の空白部に瘤状貼付充填。頸部 下位隆起線下端に瘤状貼付文が横位に付され、さ らに貼付文下位には半載竹管の平行沈線が4条沿 う。この平行沈線は頸部の区画帯及び口縁部区画 隆起線にも側線として施される。体部は、0段3 条~多条のRL縄文が施され、羽状構成をとらな い。縄文は、鋸歯状口縁の押圧にも使用され、一 部隆起線上にまでも施文されている。	関山I終末~II 式初頭
2	縄文土器 鉢型土器	Bb-27G 口縁部片	口— 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②良好 ③にぶい橙色	内文を有する鉢型土器の口縁下の小破片。平行沈 線下に逆「の」の字状のモチーフを配す。	加曾利B1式
3	弥生土器 小型壺	At-17G 胴部片	口— 底— 高—	①石英・黒色鉱物・白色 ②良好 ③黄褐色	弥生中期の小型壺の胴部片と思われる。上部に2 個の円孔あり。肩部に沈線1条。	
4	弥生土器 壺	Bk-24G 胴部片	口— 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②良好 ③にぶい黄橙色	弥生中期の壺の胴部片と思われる。	
5	弥生土器 甕	Ba-14G 口縁部片	口— 底— 高—	①赤色粒・粗砂粒を含む。 ②良好 ③橙色	口唇部に押圧文。	

B-26号土坑出土遺物 B-2号集石出土遺物 グリッド出土遺物

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
6	土 師 器 罎	Be-30G 口縁～体 部	口 10.9 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部外面横ナデ後縦方向のヘラ磨き、内面は横ナデ。体部外面上半ヘラ削り後横ヘラ磨き、以下ヘラ削り、内面はナデ。	
7	土 師 器 ミニチュア 鉢	Be-30G %	口 (6.0) 底 — 高 1.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈するミニチュアの罎。外面は口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面は横ナデ。	
8	土 師 器 甕	Bb-25G 口縁及び 底部片	口(12.0) 底 7.5 高(12.4)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は短く、「く」の字状に外反する。肩部外面は縦方向のハケメ、底部付近の外面は横方向のハケメ。	
9	須 恵 器 塊?	Be-27G 口縁及び 体部片	口(12.5) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。口縁部に波状文。体部に沈線2条、沈線上にボタン状貼付文。	
10	土 師 器 罎	Bn-28G ほぼ完形	口 13.0 底 — 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は僅かに内傾する。口縁部と体部の境には明瞭な外稜がある。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
11	須 恵 器 蓋	Br-27G %	口 — 摘 3.6 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。天井部はほぼ平坦。周縁部に低い稜を持つ。	
12	須 恵 器 蓋	表採 %	口(13.2) 摘 3.7 高 3.6	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。天井部は回転ヘラ削り調整。つまみ部は環状を呈する。	
13	土 師 器 罎	Bi-25G %	口(13.8) 底 — 高 4.3	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ。体部～底部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後口縁～体部に放射状暗文、底部は螺旋状暗文。	
14	須 恵 器 罎	Bn-29G ほぼ完形	口 14.1 底 8.5 高 4.2	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部下半回転ヘラ削り。底部は回転ヘラ削り後回転ヘラ削り。	
15	須 恵 器 高台付塊	Bn-26G ほぼ完形	口 14.1 底 7.8 高 5.1	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
16	須 恵 器 罎	Bo-26G ほぼ完形	口 12.5 底 4.8 高 4.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。右回転糸切り。内面は黒色処理後ヘラ磨き。	内面黒色処理
17	灰 釉 陶 器 高台付皿	Bh-19G %	口(12.0) 底 (6.2) 高 2.7	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。底部糸切り。高台貼付。体部下半～底部に内外面墨付着。施釉は漬け掛け。	虎溪山1号窯式
18	土 師 器 甕	Bk-16G %	口 17.8 底 4.0 高 14.7	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面上位は縦方向、下位は横方向のヘラ削り。内面はナデ。底部は径2.2cmの円孔。	
19	土 師 器 甕	Bf-24G %	口(18.6) 底 7.3 高 26.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
20	須 恵 器 甕	At-17G 底部片	口 — 底 (5.3) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄色	胴部及び底部外面ヘラ削り。内面に墨が付着しており、転用品の可能性が有る。	
21	須 恵 器 羽 釜	Bk-34G %	口(24.9) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。口縁部は直立気味に立ち上がる。鋳は断面三角形を呈する。胴部縦方向のヘラ削り。	
22	土 製 品 土 錘	Bi-30G 一部欠損	全長4.1 幅 1.7 重量 13.6	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③黒褐色	円筒形を呈する。中央に径0.2～0.3cmの貫通孔がある。側面の一部を欠損。	
23	土 製 品 土 錘	Bi-28G 完形	全長4.3 幅 1.8 重 13.6	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	円筒形を呈する。中央に径0.3cm程の貫通孔がある。	

4 グリッド出土遺物

番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
24	石製品 白玉	Bo-26G 完形	径 1.3	孔径 0.3	0.6	1.8	滑石	側面は丁寧に磨かれている。中央に穿孔。
25	打製石鏃	表採 ほぼ完形	1.7	1.2	0.4	0.5	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。先端を僅かに欠く。基部の挟りは逆U字形を呈する。
26	打製石鏃	81住覆土 完形	1.6	1.3	0.5	0.6	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りは逆U字形。
27	打製石鏃	Bn-19G ほぼ完形	2.3	1.8	0.5	1.2	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りは逆U字形。先端部を僅かに欠く。
28	打製石鏃	134住覆土 完形	2.7	1.9	0.4	2.0	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りはない。
29	打製石鏃	144住覆土 ½	2.3	1.4	0.3	0.5	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りは逆U字形を呈する。
30	石 錐	92住覆土 完形	3.0	1.7	0.8	2.7	チャート	先端部にたいへん丁寧な調整が加えられている。
31	石 匙	172住覆土 一部欠	3.5	1.5	0.4	2.6	黒曜石	縦長の剝片を素材としている。小型の縦型石匙と思われる。
32	剝片石器	151住覆土 一部欠	2.8	1.6	0.7	2.3	黒曜石	先端部を欠く。
33	石 匙	53住No22 完形	6.8	6.8	2.2	67.3	黄褐色珪質岩	縁辺にたいへん丁寧な調整が加えられる。
34	打製石斧	48住覆土 完形	10.2	6.9	2.3	183.5	硬質泥岩	中央部両側に挟りの入る分銅型。刃部近くに使用痕と思われる摩耗が見られる。
35	石 鋏	140住覆土 完形	19.7	6.4	3.4	548.8	緑色片岩	バチ型でやや大型の石鋏。
36	磨 石	Bj-31G 完形	13.6	4.3	3.5	292.6	流紋岩	表裏2面に磨面あり。
37	石皿状の 石製品	表採 完形	9.1	8.4	3.1	276.4	砥沢石	表面に凹状のくぼみをつけて使用。表面のほぼ全面に褐色の付着物が見られる。
38	砥 石	At-17G 完形	7.1	5.5	2.7	154.7	砥沢石	4面を使用。2面は特に多く使用されており凹状のくぼみが見られる。
39	砥 石	Bq-28G ½	10.7	4.6	3.4	202.4	砂岩	表面と2側面の3面を使用。
40	砥 石	Be-28G 完形	36.1	29.0	2.8	3,200.0	砂岩	板状の砂岩をそのまま使用している。表裏の2面を使用している。
41	砥 石	At-17G ほぼ完形	37.8	21.6	3.8	3,939.0	砂岩	板状の砂岩の主に表面を使用している。
42	板 碑	74住上層 ほぼ完形	58.7	18.8	3.1	6,300.0	黒色片岩	上部に梵字。

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第168集

南蛇井増光寺遺跡Ⅲ

(観察表編)

関越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第22集

平成6年3月20日 印刷

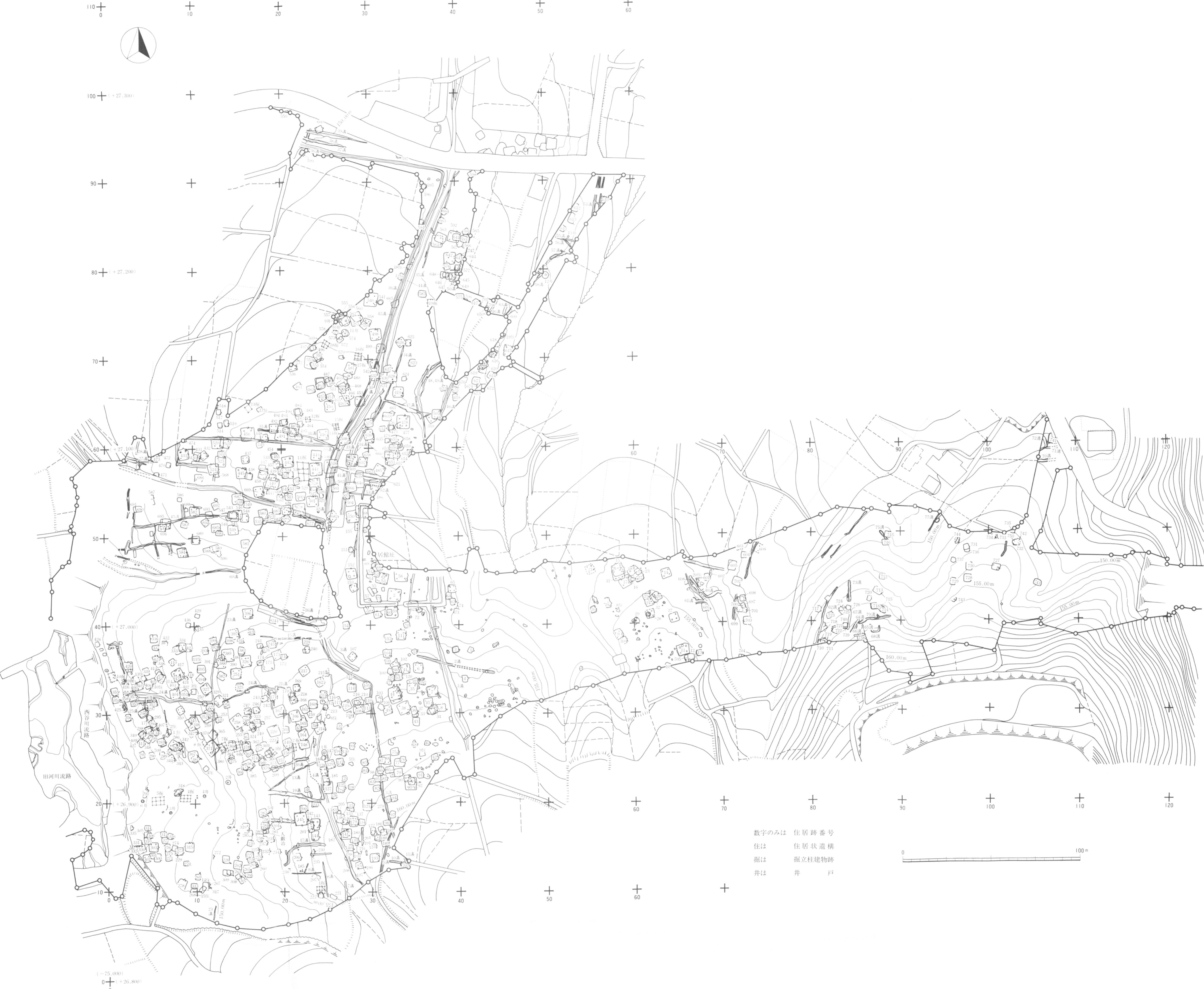
平成6年3月25日 発行

編集・発行／群馬県埋蔵文化財調査事業団

勢多郡北橋村大字下箱田784-2

電話(0279)52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社



矢田遺跡遺構分布図(1/1000) 平成7年9月

